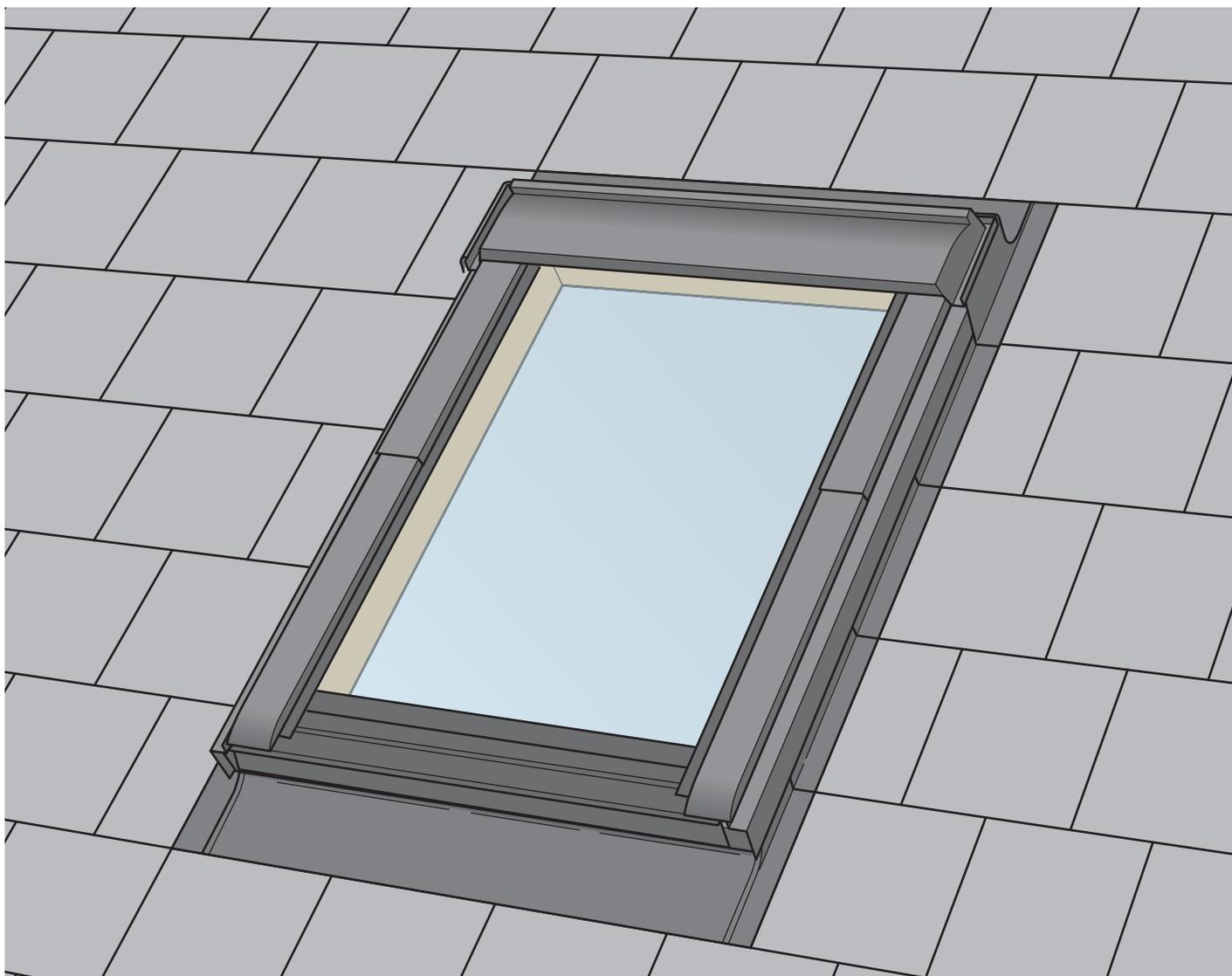


# GGL/GGU/GGH



## ベルックス ルーフウインドウ 施工説明書

- 窓本体の取り付け及び取り合いは、この説明書に従って正しく施工して下さい。
- 取り付け可能勾配は30° (6寸)から85° の範囲内です。  
GGUは、22° (4寸)から85° の範囲内です。



30°-85°



## 本体取り付け（工事店様用）

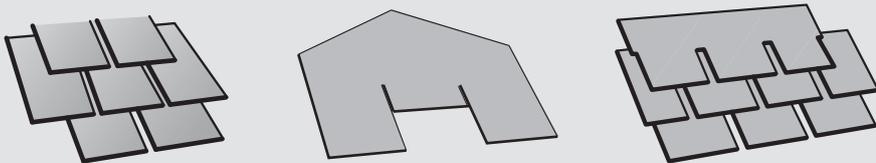
- 施工にあたり、まず共通部分をご覧下さい。
- 次にご使用になる屋根材別のページに進んで下さい。



共通部分

## スレート用屋根工事（スレート工事店様用）

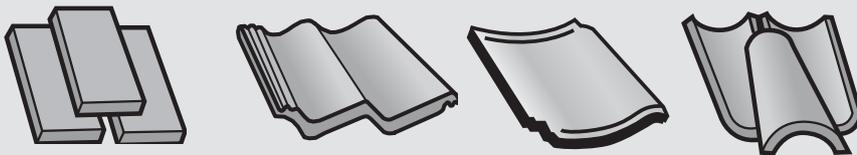
•13～19 ページ



スレート

## 瓦用屋根工事（瓦工事店様用）

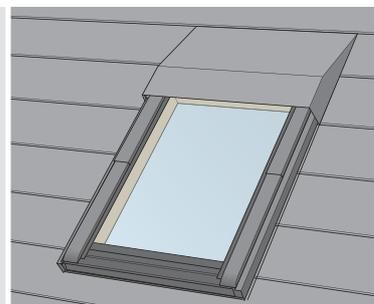
•21～29 ページ



瓦

## 鋼板横葺き積雪地用屋根工事（板金工事店様用）

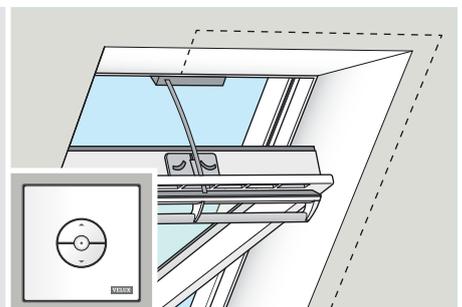
•31～38 ページ



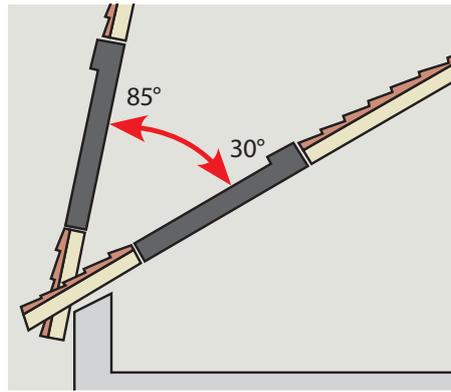
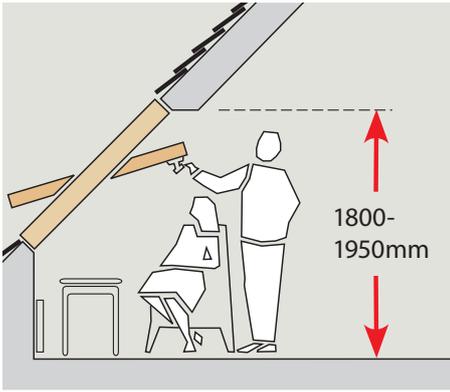
鋼板

## 電気工事（全工事店様用）

- 39 ページ
- 電気工事をスムーズに行うためのお願いです。  
ご一読の上、どうぞご協力下さい。
- 電気工事は必ず資格のある専門業者に依頼して下さい。

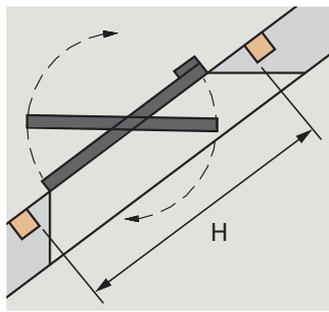
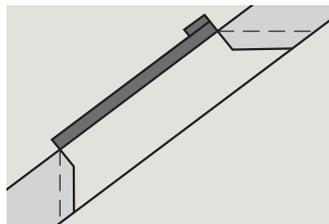
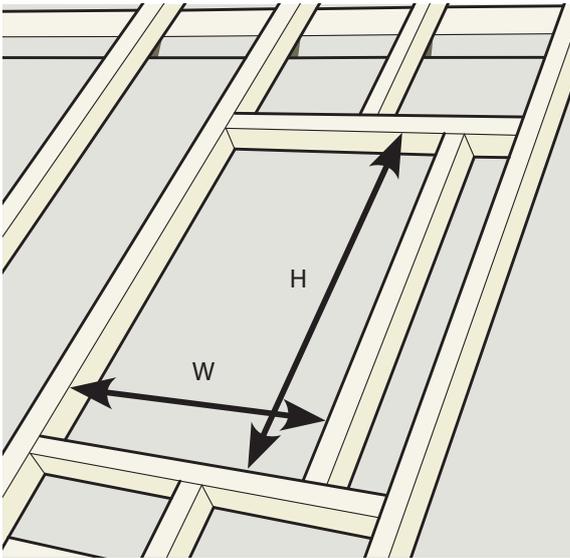


次の工程のために、この説明書及びトルクスビットは大切に保管して下さい。



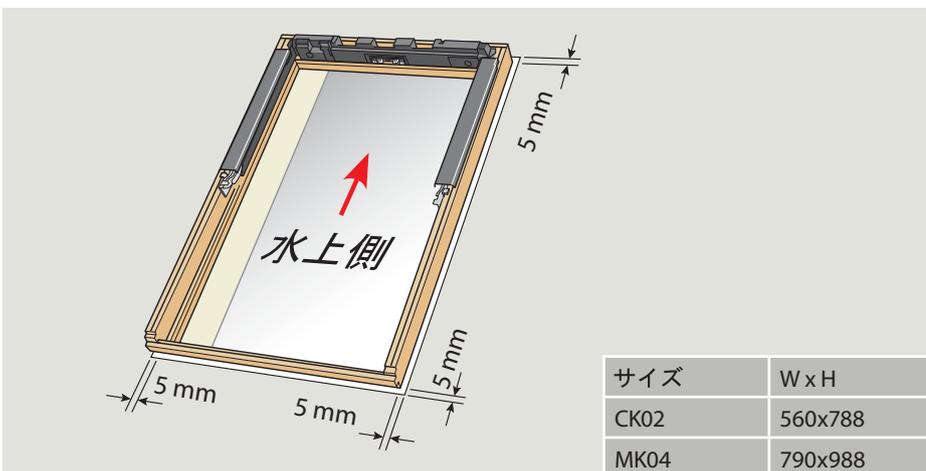
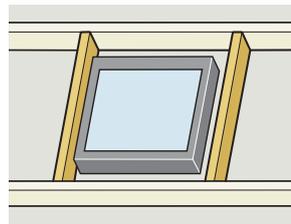
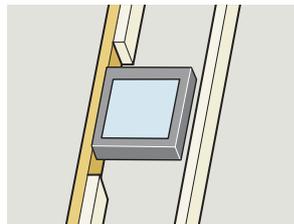
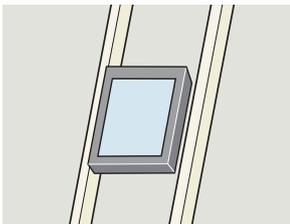
取り付け可能勾配は30° (6寸) から85° の範囲内です。

GGUは22° (4寸) から85°の範囲内です。



たる木開口寸法 (W×H) は、内装パネルの上部・下部がそれぞれ水平・垂直になるようにして下さい。左図のように上部内装パネルと下部内装パネルをそれぞれ水平・垂直にとると窓本体から光を効率よく採り入れられるだけでなく、アクセサリーの操作をしやすいです。さらに室内の暖かい空気がガラス面を伝わって循環しますので、結露の発生を抑制します。

開口部周辺は、たる木で充分補強して下さい。



開口寸法 (W) は本体外寸より5mm 大きくして下さい。各サイズ別の開口寸法は左表を参考にして下さい。

サイズ	W×H
CK02	560x788
MK04	790x988

## 安全上、施工上の注意

この説明書に使われているマークには以下のような意味があります。

**警告** この表示の項目は、死亡または重傷などを負う可能性が想定されます。

**注意** この表示の項目は、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。

.....安全のための注意.....

◎けがや事故防止のため、以下のことをお守り下さい。

- ▲ **警告**
  - 窓本体を屋根に運搬する作業は、2人以上またはクレーン車等で行って下さい。
  - 強風時、悪天候時の運搬、施工は行わないで下さい。
  - 屋根に施工する際、足場を設けて下さい。
  - 開口部には、墜落防止のための表示等を行って下さい。
- ▲ **注意**
  - 商品は足場の良い所に置き、倒したり、投げたりしないで下さい。
  - 商品の上に乗らないで下さい。
  - 怪我や事故防止のため、適切な保護具や安全器具を使用して下さい。
  - 商品のねじ止め箇所は、すべて確実にねじ止めして下さい。
  - ガラスの破損やひび割れを発見した場合は、放置せず、速やかに当社までご連絡下さい。

.....施工上の注意.....

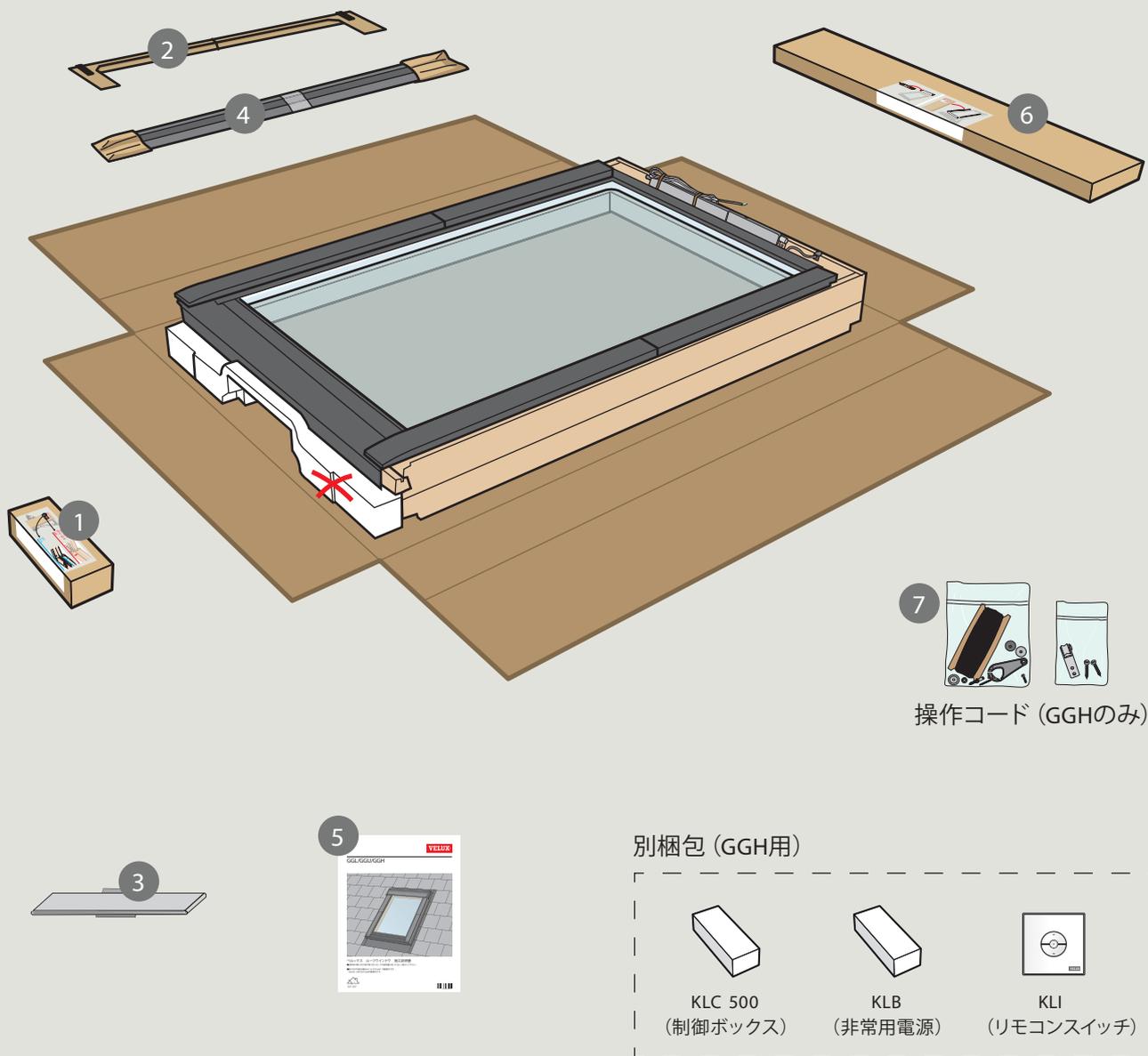
◎施工がこの施工説明書に従っておらず、それが原因で雨漏れや故障が発生した場合には、保証ができません。

- ▲ **警告**
  - 屋根雪の落下が予想される場所には取り付けしないで下さい。
  - 窓本体を出入口の用途に使用しないで下さい。
- ▲ **注意**
  - 内枠に銀色のレバーが付いている方が水上側になるように施工してください。
  - 施工可能な屋根勾配はGGLは30°（6寸）～85°、GGU・GGHは22°（4寸）以上です。  
この範囲以外への施工は行わないで下さい。
  - 窓の汚れは乾拭きで落として下さい。
  - ガラス面に荷重をかけたりフィルム等を貼らないで下さい。
  - 高温の屋根に商品を放置し続けると、ガラスの温度が上昇し割れることがあります。
  - 多雪区域では、建築地の積雪状況、すが漏れ、落雪等を考慮の上、天窓上部や周辺部に雪が溜まらないように施工してください。同区域の鋼板屋根には天窓上部にジャンプ台を施工して下さい。取付け勾配に関わらず、すが漏れは保証対象外となります。
  - 海拔850m以上の高地で使用する場合は、現地でペアガラス内の気圧調整が必要です。
  - GGLは、浴室等、高温多湿となる所へは取り付けしないで下さい。

## 工事区分

項目	内容	工事区分	ページ
開口	野地開口	建築	3
本体	位置決め ビス止め固定	建築	7, 8, 10
ルーフィング	ルーフィング施工 コーナーの処理 防水テープ貼付	屋根	15, 16 23-24 33~35
水切り 屋根材	水切りと屋根材の 施工	屋根	16~19 24~29 35~38
電気	屋内配線	電気	39

1



開梱後、梱包用の補強材を外して下さい。(x印)

梱包内容 (GGL,GGU,GGH)

- 梱包1 (取付金具、ねじ、調整用くさび、トルクスビット)
- 梱包2 (下部外装板、ねじ、トルクスビット)
- 梱包3 (防水テープ、コーナープチル)
- 梱包4 (側部外装板)
- 梱包5 (施工説明書、取扱説明書)
- 梱包6 (上部外装板、ねじ)
- 梱包7 (操作コード G G H 用)

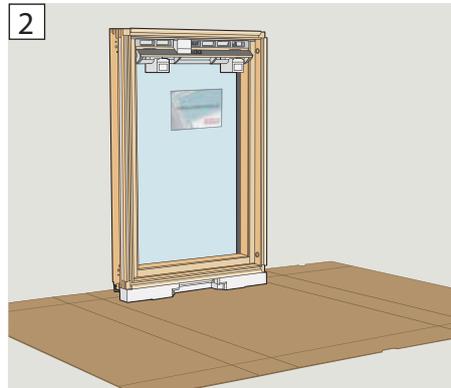
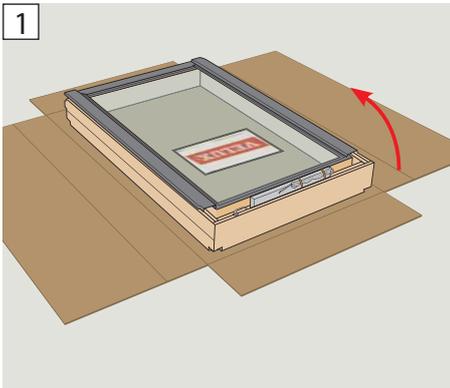
GGH 電動タイプの場合：

別梱包に、下記部材が入っていますので  
電気工事業者様にお渡しください。

- KLC 500 (制御ボックス)
- KLB (非常用電源)
- KLI (リモコンスイッチ)

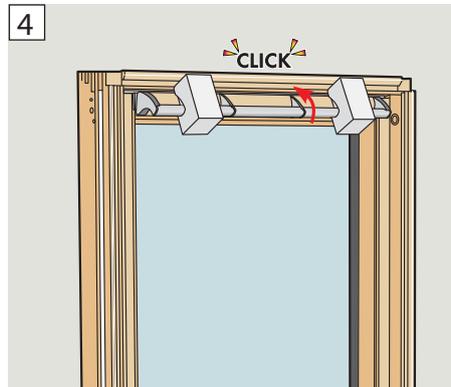
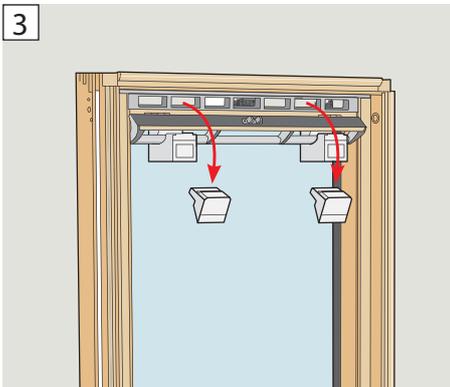
## 2

**重要！** 屋根に設置する前に開閉レバーを閉めて下さい (1~4)。  
 通常の施工では、内枠を外す必要はありません。やむを得ぬ理由で外す場合は、次の通り作業して下さい。



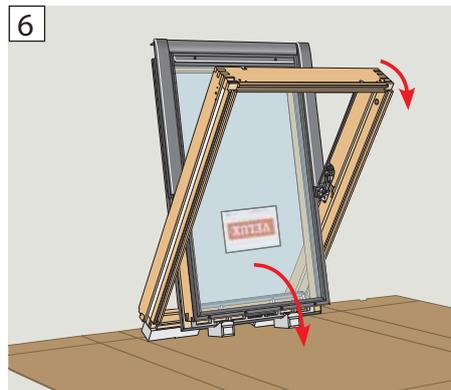
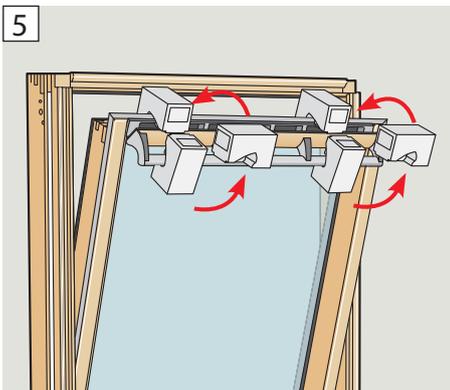
### 内枠の外し方

1. 梱包を解放します。
2. 窓を図のように立てます。

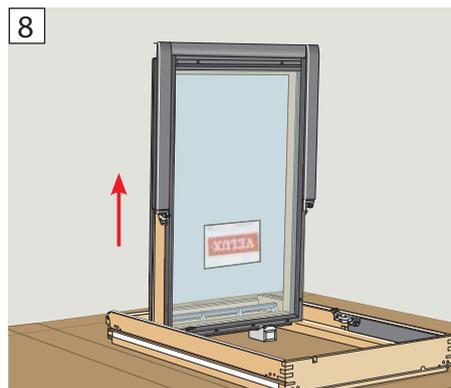
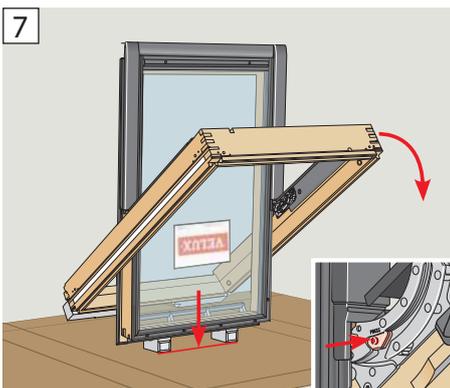


3. 図の緩衝材を外します。
4. 開閉レバーを閉めます。

◎通常この状態で屋根に設置します。  
 緩衝材を全て外して下さい。

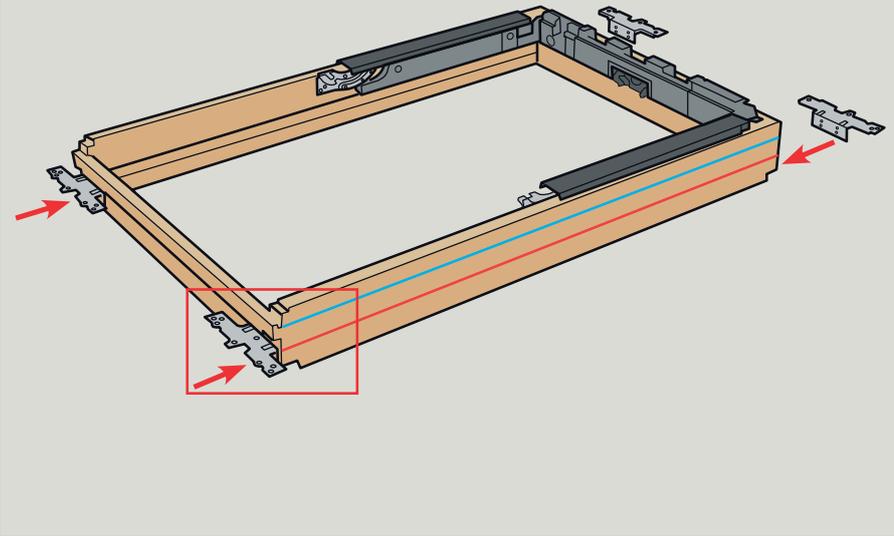


5. 開閉レバーを引いて窓を開けます。
6. 内枠を180° 回転させます。

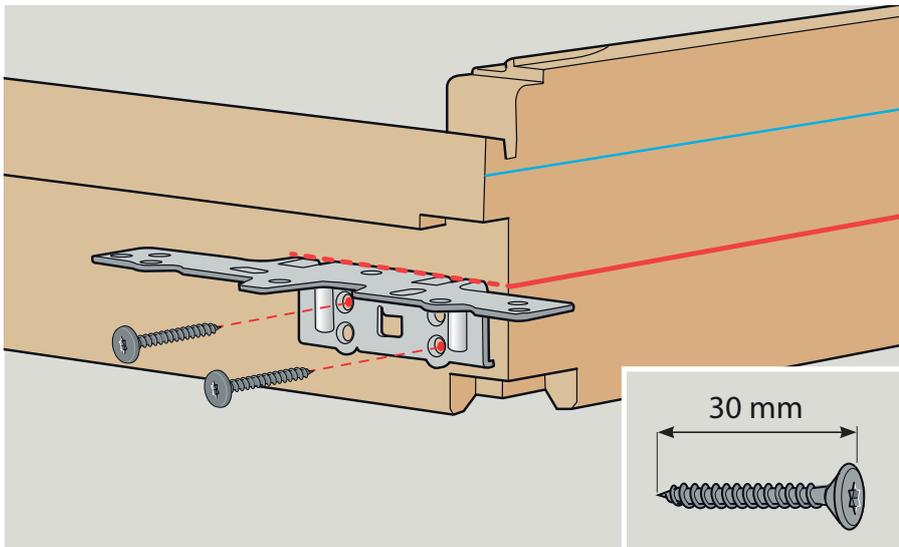


7. 内枠を図のように立て、ヒンジの突起部をドライバー等で押します。
8. 外枠をゆっくり倒しますと内枠が外れます。

3



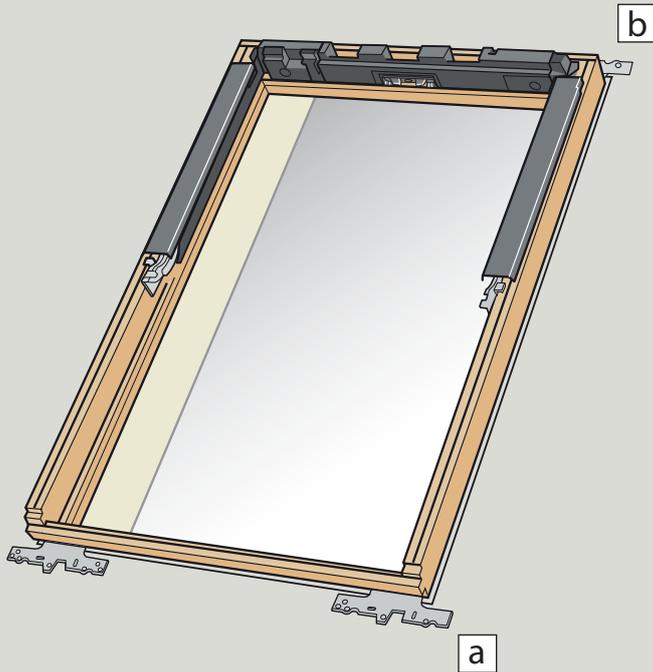
窓を屋根に上げる前に、梱包1に入っている取付金具を、各コーナーに2本のねじで固定して下さい。左図のように本体の溝に金具を合わせて下さい。



**注意!**  
取り付け位置は、スレート、瓦、鋼板共通です。取付金具の裏表を間違わないよう注意して下さい。

**重要!**  
ねじ締めの際、付属のトルクスビットをご使用下さい。

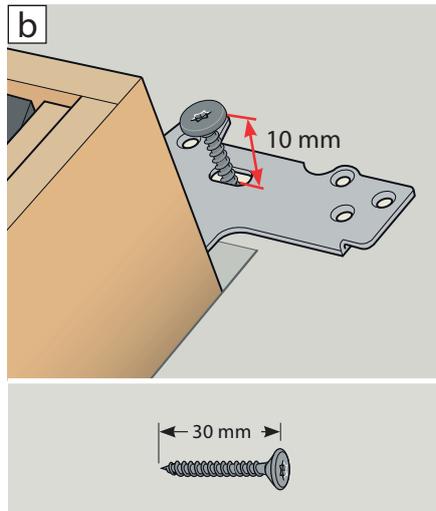
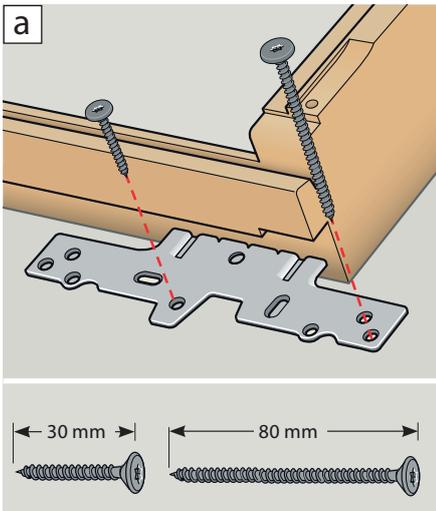
4



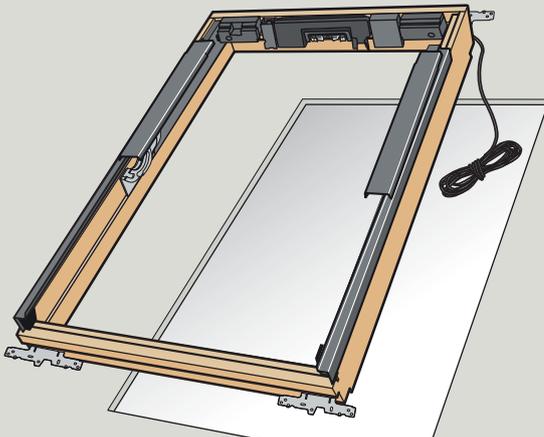
野地板への取り付けも付属のねじで行います。  
 まず、水下側の金具から順に、水平を確かめながら固定して下さい。  
 尚、上部の2カ所は、⑥に示す微調整が終了してから固定して下さい。

ねじの数：

各コーナー 30mm x 1本  
 80mm x 1本



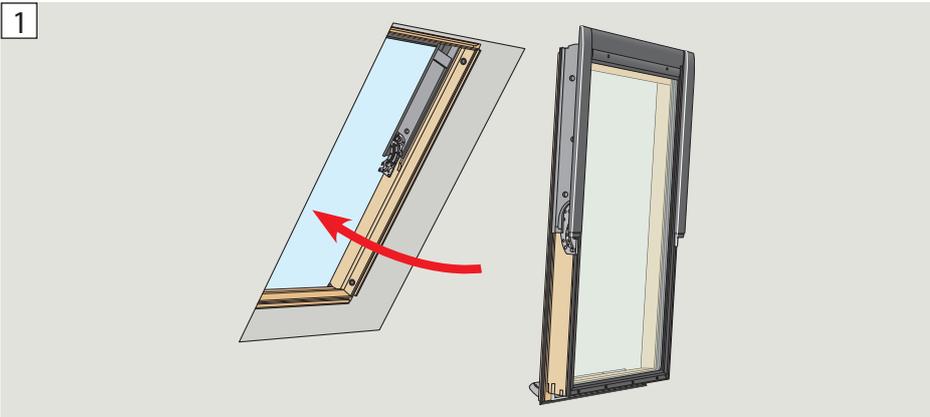
GGH



GGH電動タイプの場合

非常用電源に接続する為の配線を野地板のすき間から室内側に入れて下さい。

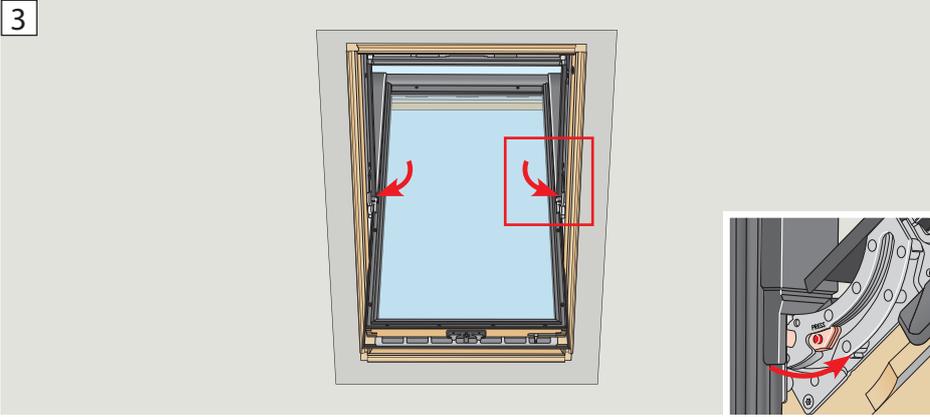
5



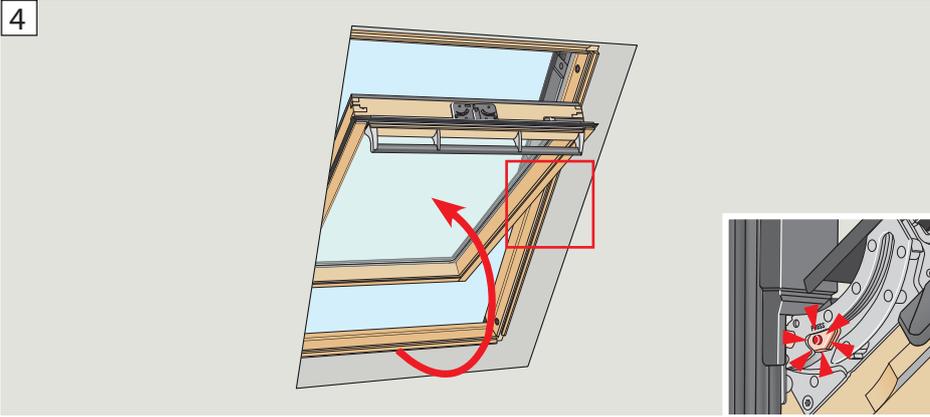
内枠の戻し方  
内枠の開閉レバーを外側底部へ向  
けます。



内枠を外枠に通します。

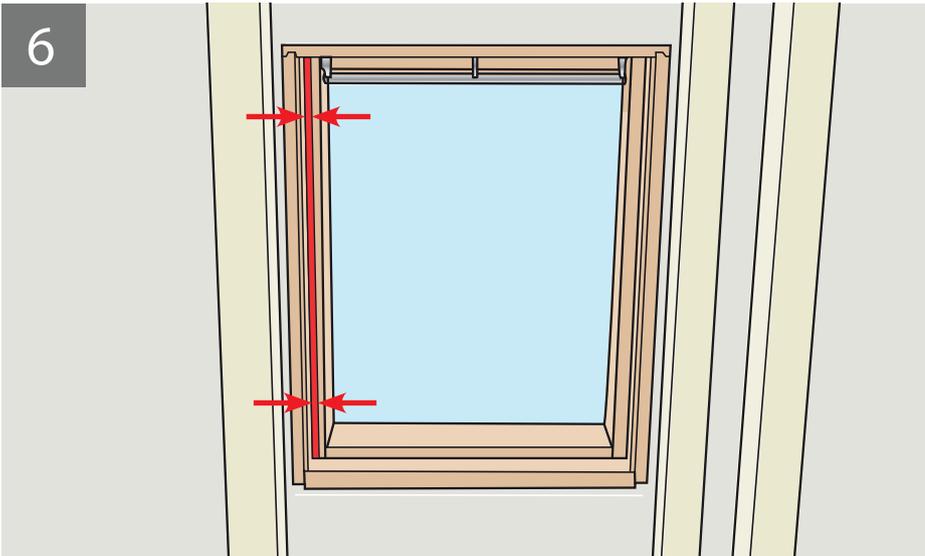


両側の蝶番のわん曲スライドを左右同  
時に差し込みます。  
**重要!**  
蝶番は必ず左右同時に差し込んで下  
さい。  
左右別々に差し込むと、ひねりやゆが  
みが生じて、故障の原因となります。



窓を閉めると蝶番内のストッパーは自  
動復帰します。

6



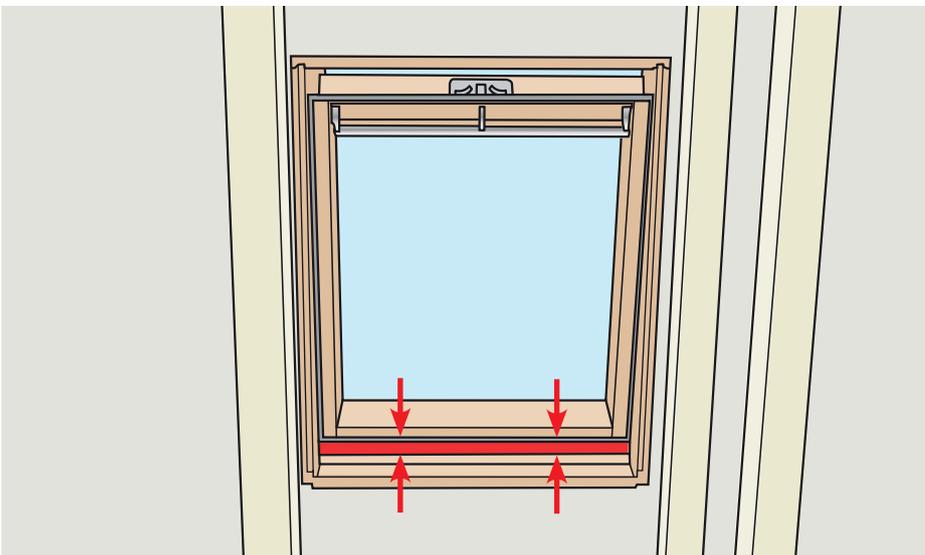
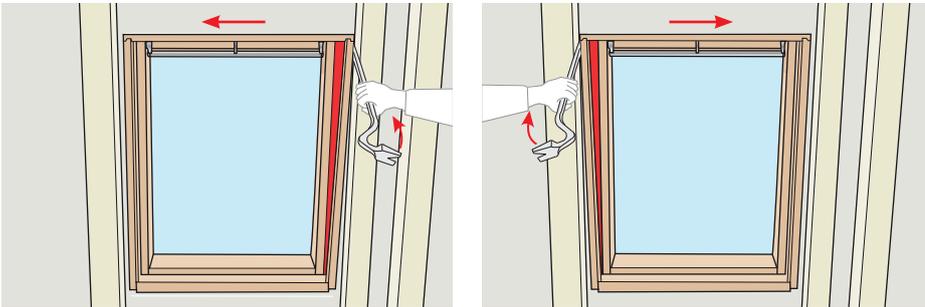
外枠と内枠のチリ(すき間)の微調整  
両脇のチリを確認します。

調整方法

1. 両脇のチリが不均一の場合

左上のすき間が大きい時は左上部を中央側に押し出してチリを調整します。

右上の場合はその逆になります。

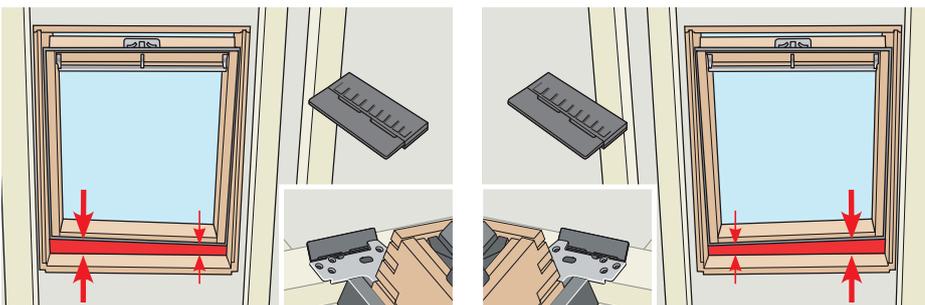


2. 下部のチリが不均一の場合

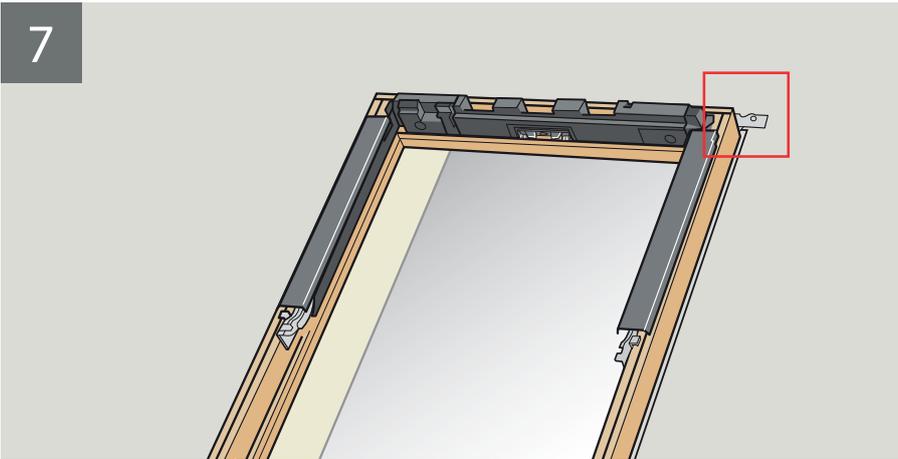
右下のすき間が大きい時は、左上コーナー取付金具下にくさびを打ち、コーナー取付金具を浮かせてチリを調整します。

左下の場合はその逆になります。

(付属のくさびの厚みを調整して下さい。)



7



チリの微調整が済んだら全部のねじをしっかりと締め付けて下さい。

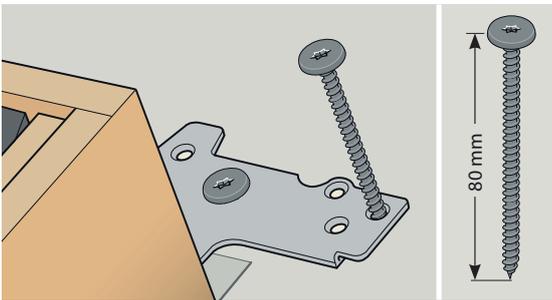
ねじの数：

各コーナー 30mm x 1本

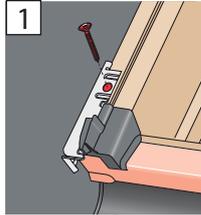
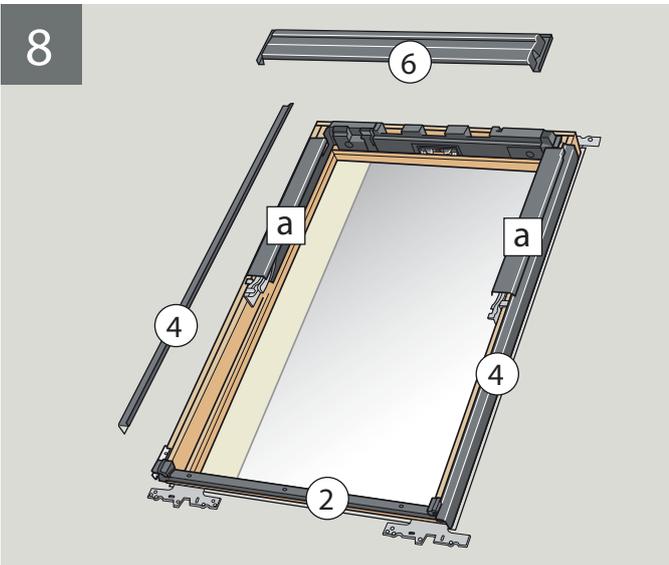
80mm x 1本

**重要！**

ねじ留めの際、付属のトルクスビットをご使用下さい。

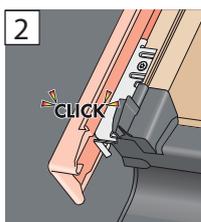


8



その日のうちに屋根工事にかからないときは、窓を開けて、全ての外装板をねじ留めして下さい。

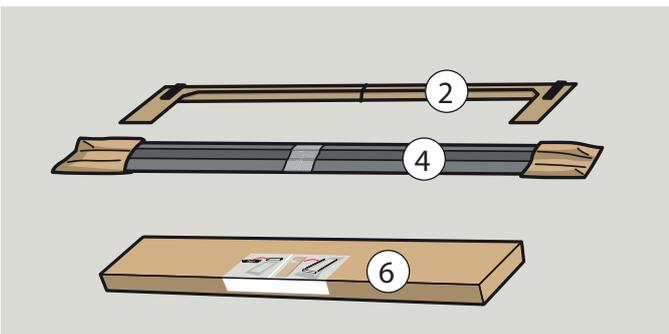
外枠には、あらかじめねじ穴が開いていますので、外装板のねじ穴と合わせて取り付けして下さい。



尚、②の外装板を取り付けるときは、コーナーガスケットの突起を、外枠のガイド穴に差し込み、外装板と端部L型金属プレートをねじ留めして下さい（図1）。

**重要！**

ねじ留めの際、付属のトルクスビットをご使用下さい。



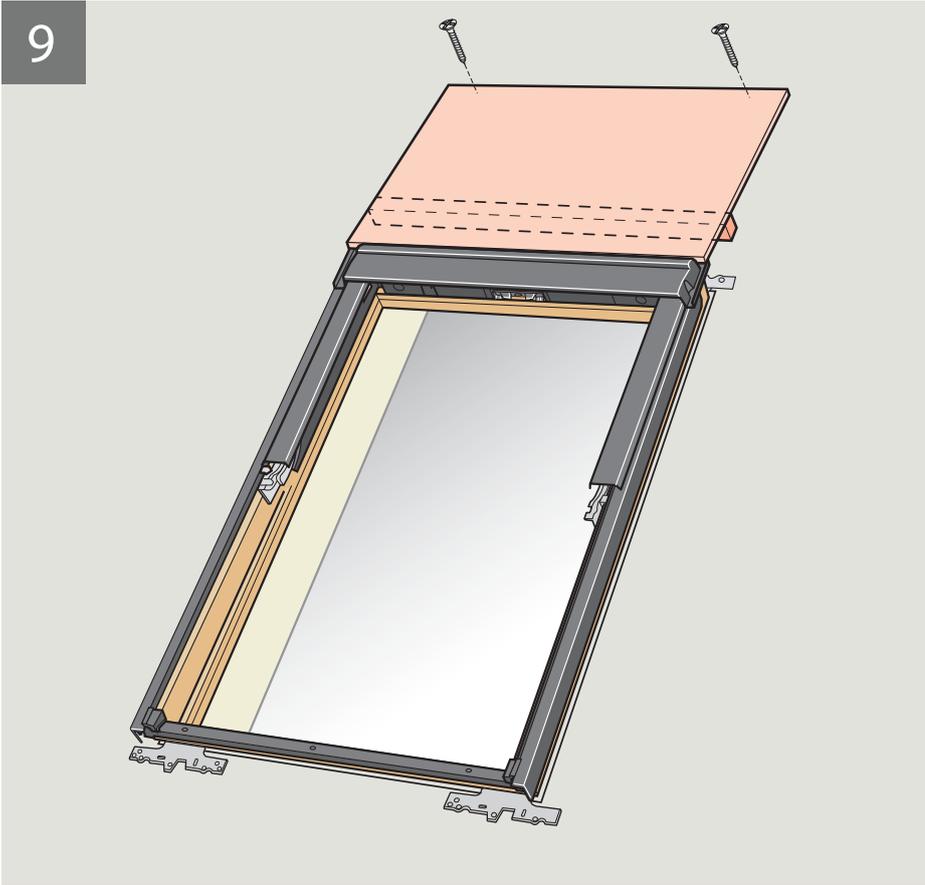
側部外装板④を取り付ける際、aの外装板に下から差し込み、下部外装板の端部L型金属プレートにしっかりと差し込んで下さい（図2）。

また、上部で当たる場合、少し外側に開いて差し込んで下さい。

取付順：②→④→⑥

左図の梱包に外装板が入っています。

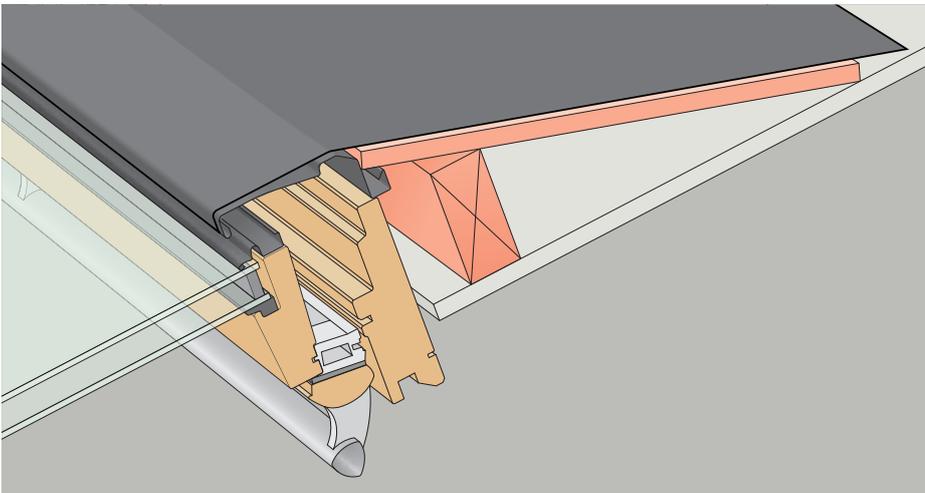
9



多雪区域では、建築地の積雪状況、すが漏れ、落雪等を考慮の上、天窓上部や周辺部に雪が溜まらないように施工して下さい。

同区域の鋼板屋根には天窓上部にジャンプ台を施工して下さい。

- ・窓枠上部へ土台となる合板を貼ります。
- ・合板は十分な長さを取って下さい。(雪が溜まるので、逆勾配にしないで下さい。)

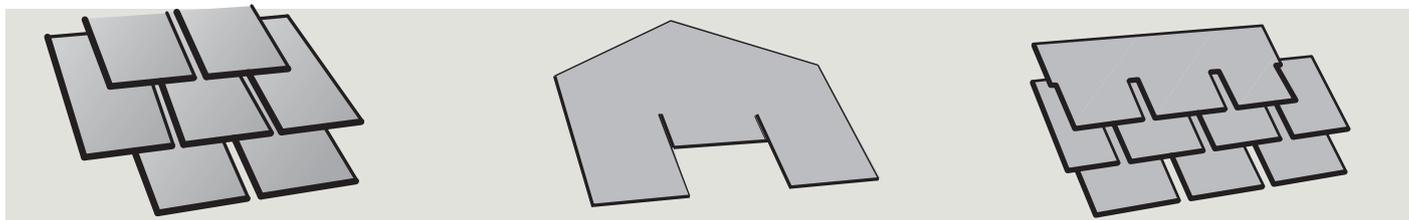


## スレート用取り付け説明書 (コロニアル・カラーベスト等)

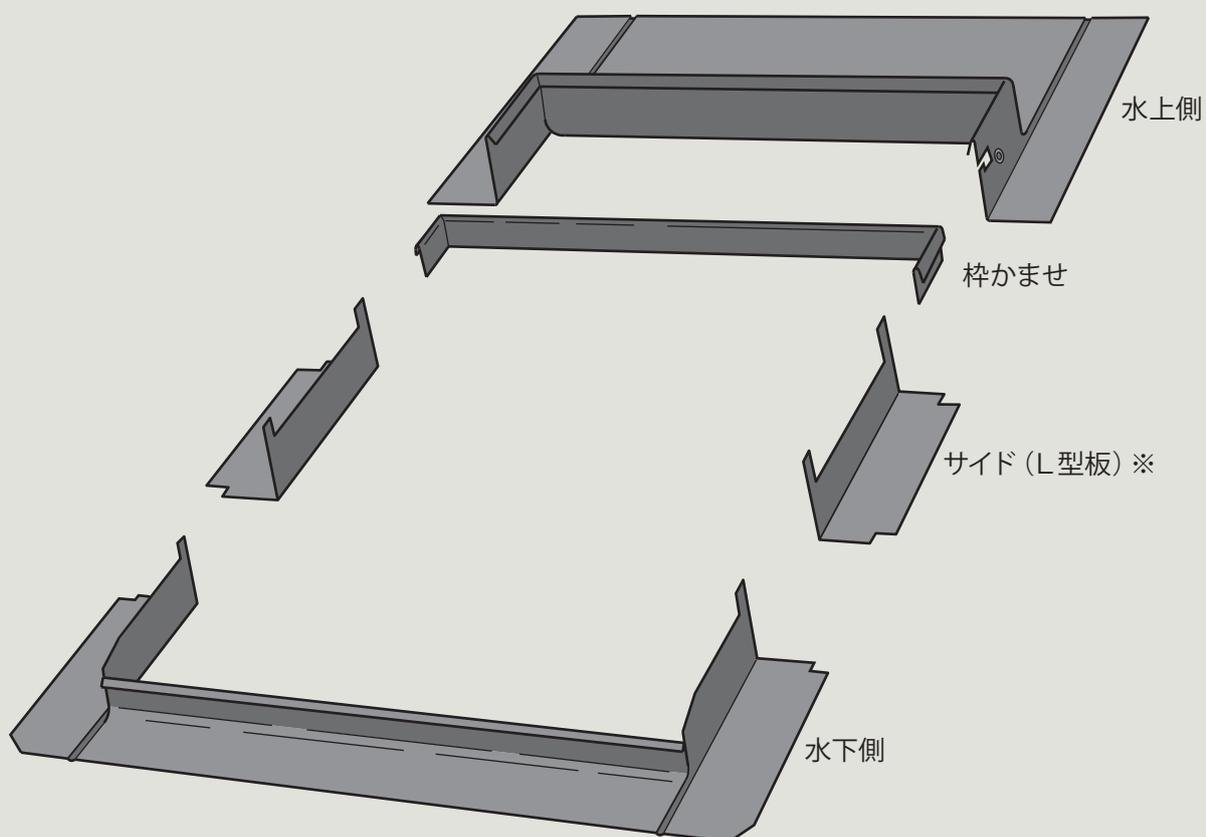
・EDL型水切り使用

\*波瓦・S瓦・和瓦等を使用の場合は、EDW 型水切りの説明書を参照下さい。

\*鋼板屋根には鋼板横葺き施工例を参照下さい。



### EDL型水切り梱包仕様

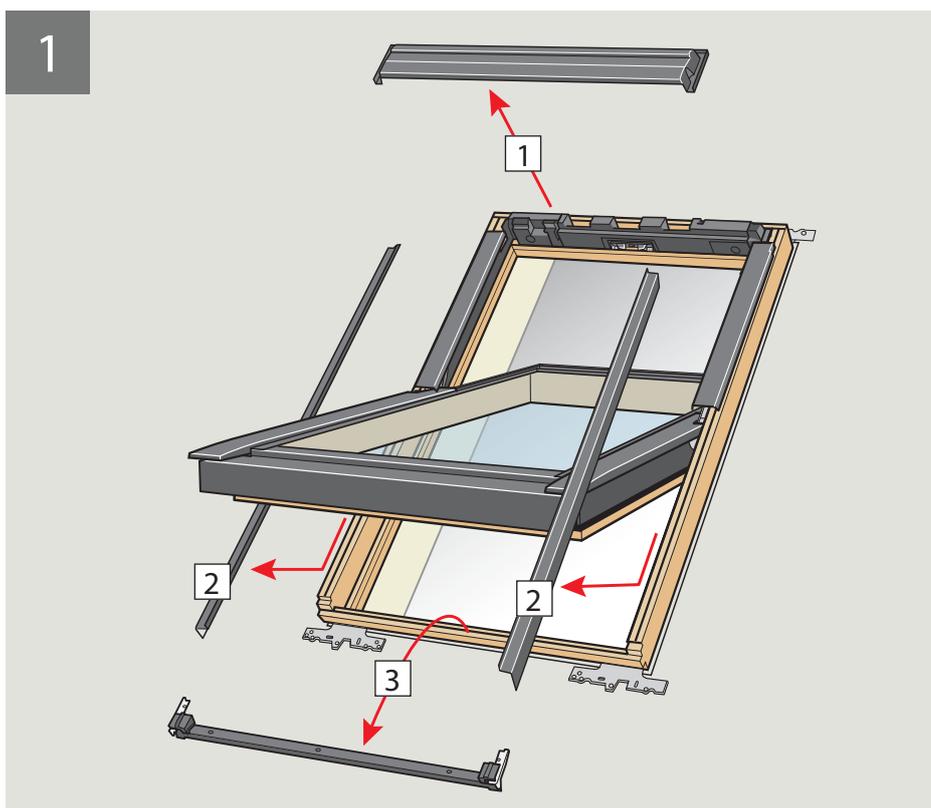
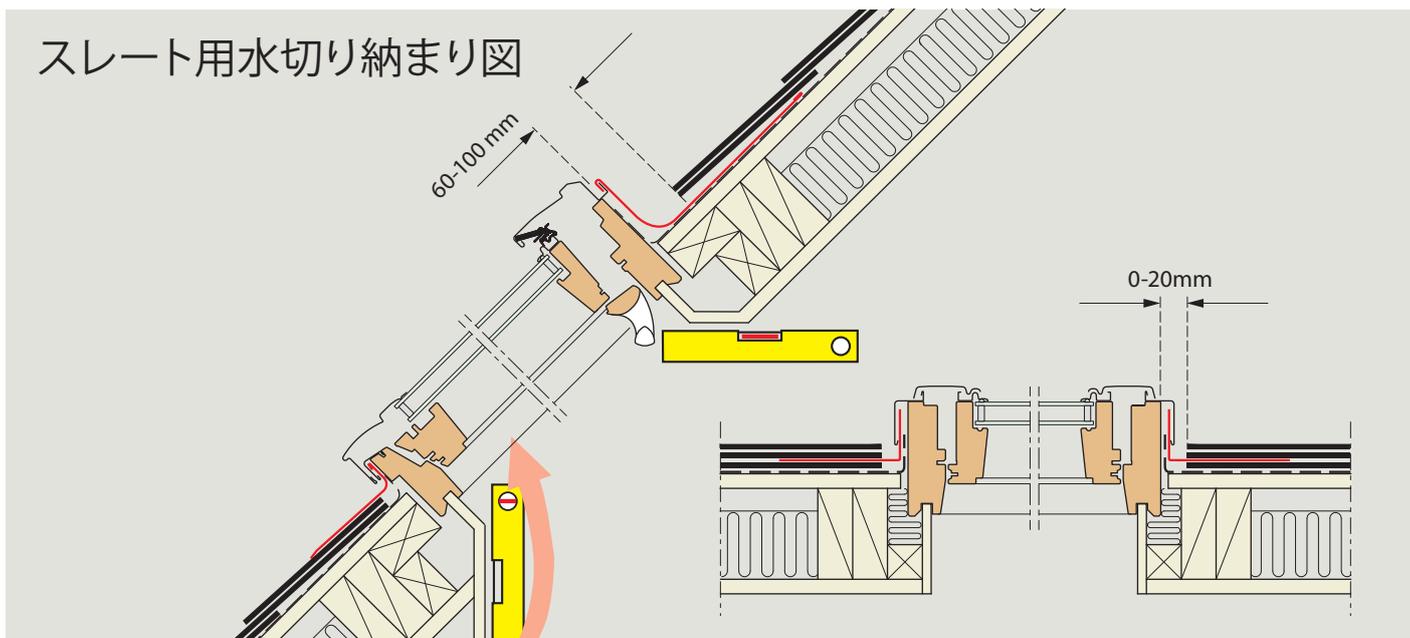


※サイド (L型板) 枚数

梱包内容

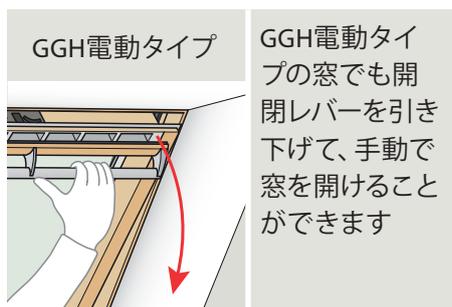
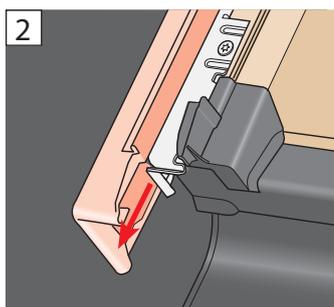
サイズ	枚数	水上側	1本
CK02	12	枠かませ	1本
MK04	12	サイド	※
		水下側	1本
		釘/ねじ	1袋

## スレート用水切り納まり図



まず、本体のアルミ外装板を一旦取り外して下さい。(1→2→3)  
後で戻すので、外装板やねじを紛失しないようご注意ください。

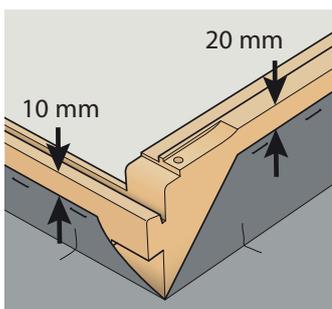
**重要!**  
ねじを外す際、付属のトルクスビットをご使用下さい。



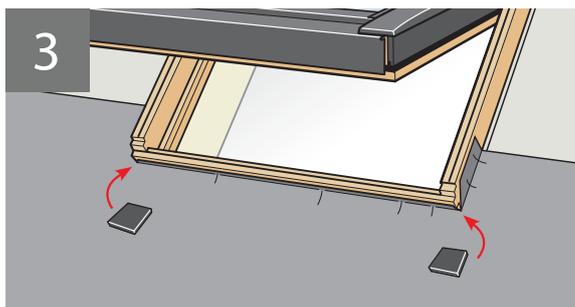
GGH電動タイプ

GGH電動タイプの窓でも開閉レバーを引き下げて、手動で窓を開けることができます

②の外装板を外す際、下にずらしてから外して下さい(図2)。



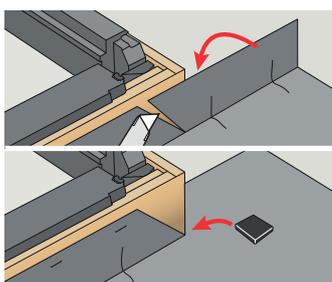
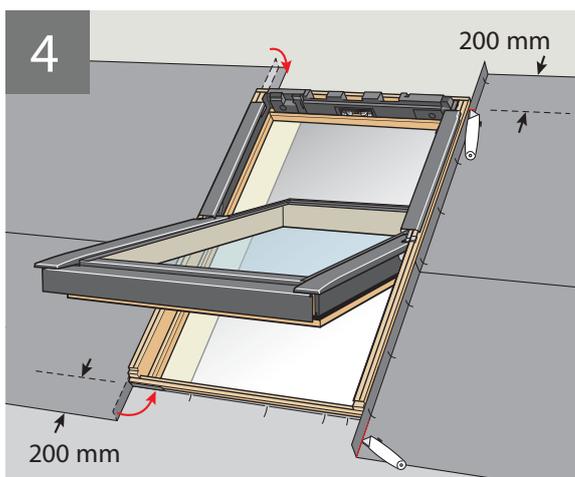
ルーフィングシートを本体上端より 下部は10mm まで、側部、上部は20mm まで立ち上げます。(防水テープを貼るので木枠を残して下さい。) 左右のコーナーより内側に角度をつけてカットして、本体にタッカーで留めて下さい。



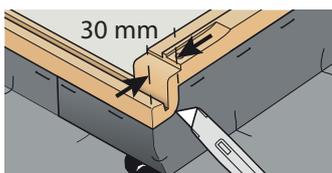
左右コーナーのピンホールを同梱のコーナーブチルでふさいで下さい。



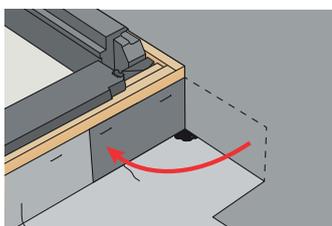
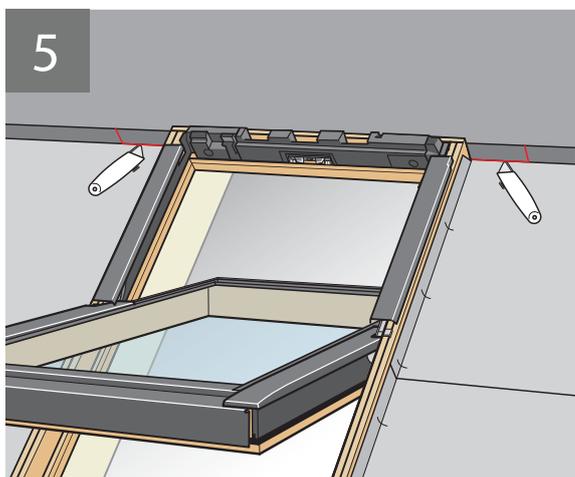
**注意!**  
コーナーブチルをルーフィングシートにしっかり接着して下さい。角部分もしっかり延ばして下さい。



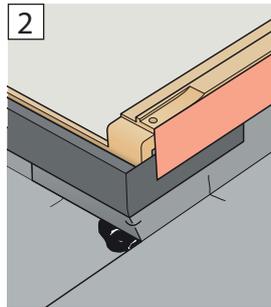
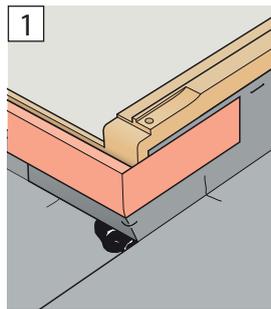
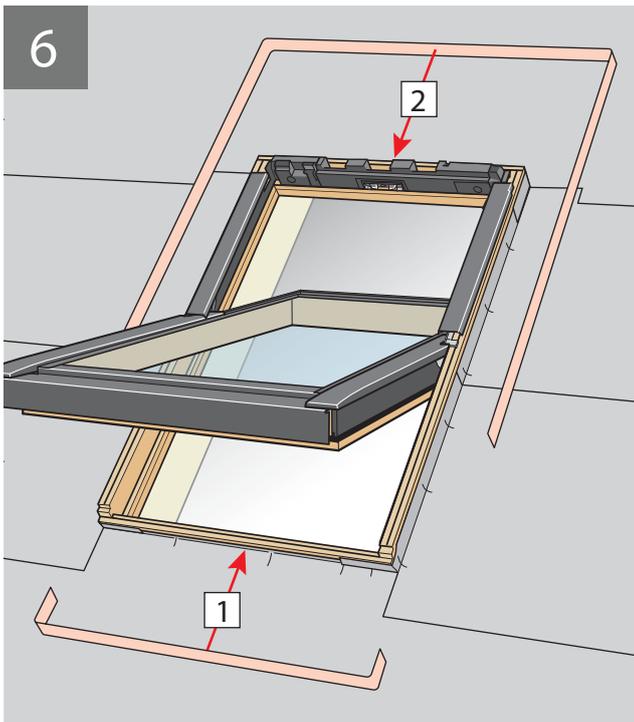
ルーフィングシートは本体サイドの上端より20mm 下まで立ち上げ、下部はまっすぐにカットして内側に折り曲げてタッカーで留めて下さい。上部は左右コーナーより角度をつけてカットして下さい。  
次にコーナーブチルを接着して下さい。



**注意!**  
下部コーナーの余計なルーフィングシートを左図のように切り取って下さい。



上部木枠も上端より20mm 下までルーフィングシートを立ち上げ左図の要領でカットして折り曲げてタッカーで留めて下さい。



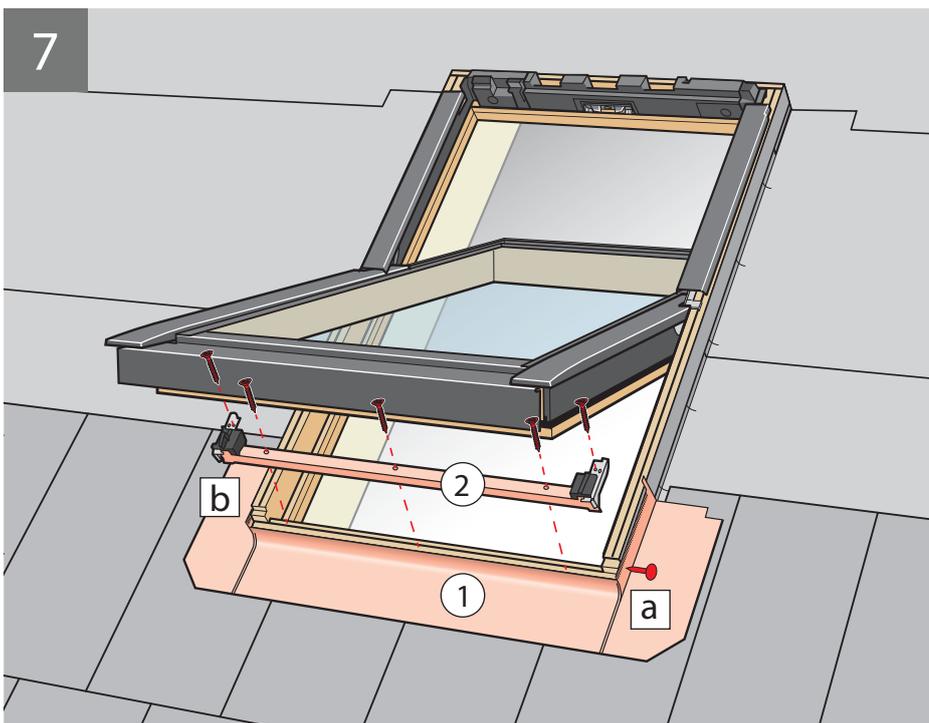
左図のように窓四方に同梱の防水テープを貼って下さい。

まず、本体下部は木枠の溝まで貼って下さい(図1)。

次に側部および上部に防水テープを貼ります(図2)。

**注意!**

木枠とルーフィングシートに防水テープがしっかり接着していることを確認して下さい。

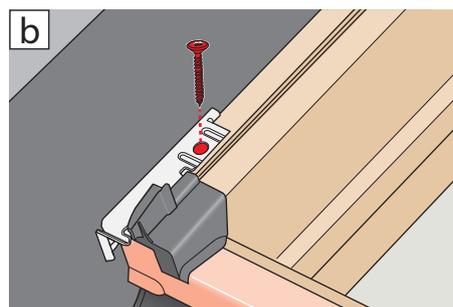
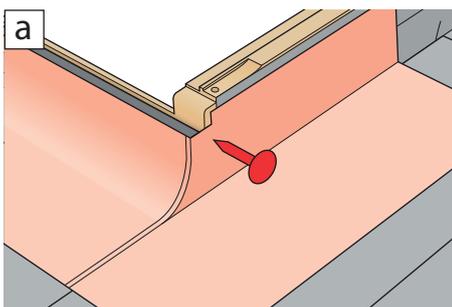


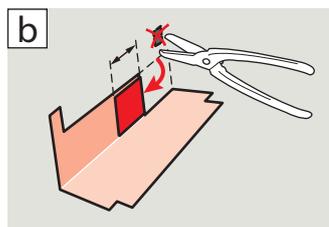
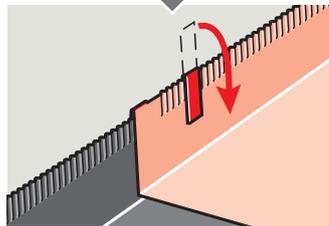
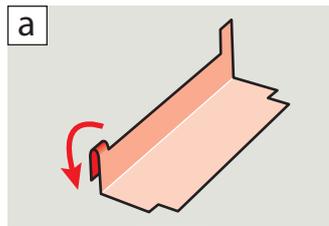
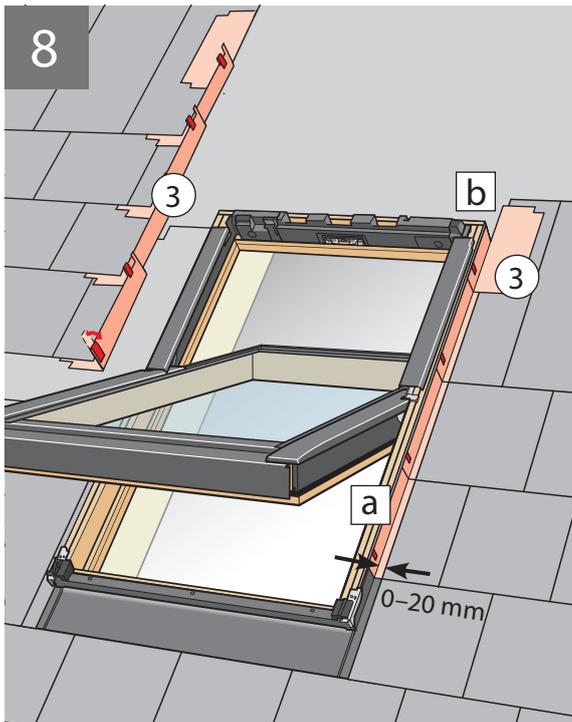
図のように窓枠下部までスレートを葺いたら、下部水切りを窓枠にはめ込み、付属の釘で固定して下さい(図a)。

②の外装板を取り付ける際、コーナガasketの突起を、外枠のガイド穴に差し込み、外装板と端部L型金属プレートをねじ留めして下さい(図b)。

**重要!**

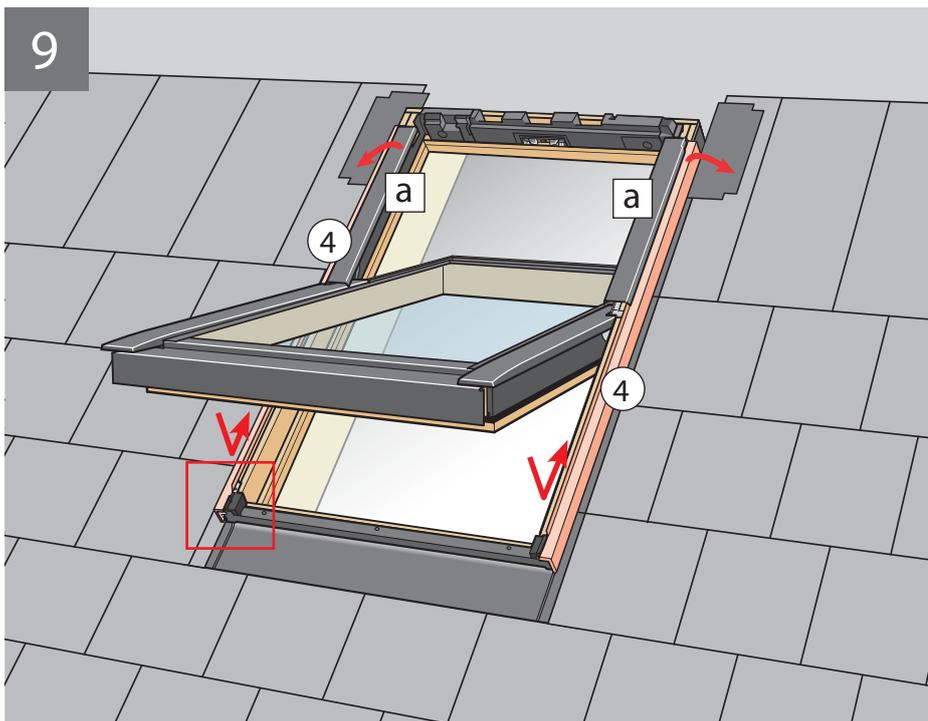
ねじ留めの際、付属のトルクスビットをご使用下さい。



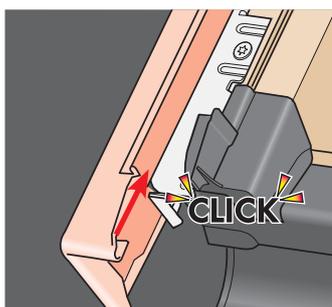


水切り側部L型板③のリップを曲げ、(左上図)、屋根材の下に敷き、左図に示すようにL型板と屋根材がサンドイッチ状に交互に重なるように下部より順に葺き重ねて下さい。その際上下のL型板の重なりを100mm 以上とって下さい。上下のL型板は、リップを曲げて固定します。(左中図) 窓枠側部と側列の屋根材とのすき間は、0-20mm 開けて下さい。

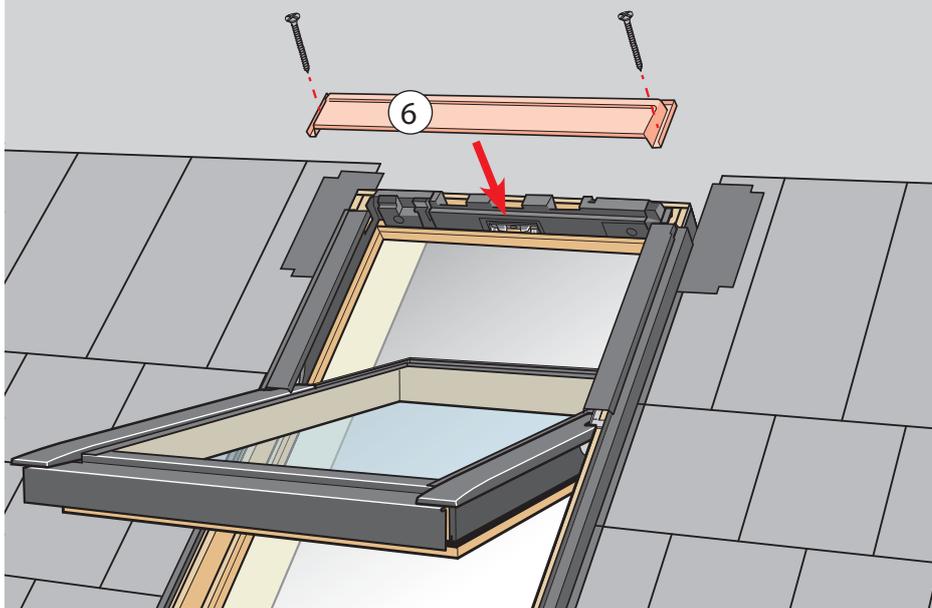
窓枠上部では、L型板の寸法が余りますので左下図のように切り込みを入れて、外側に折り曲げて下さい。



側部外装板④を取り付ける際、aの外装板に下から差し込み、下部外装板の端部L型金属プレートにしっかり差し込んで下さい(下図)。また、上部で当たる場合、少し外側に開いて差し込んで下さい。

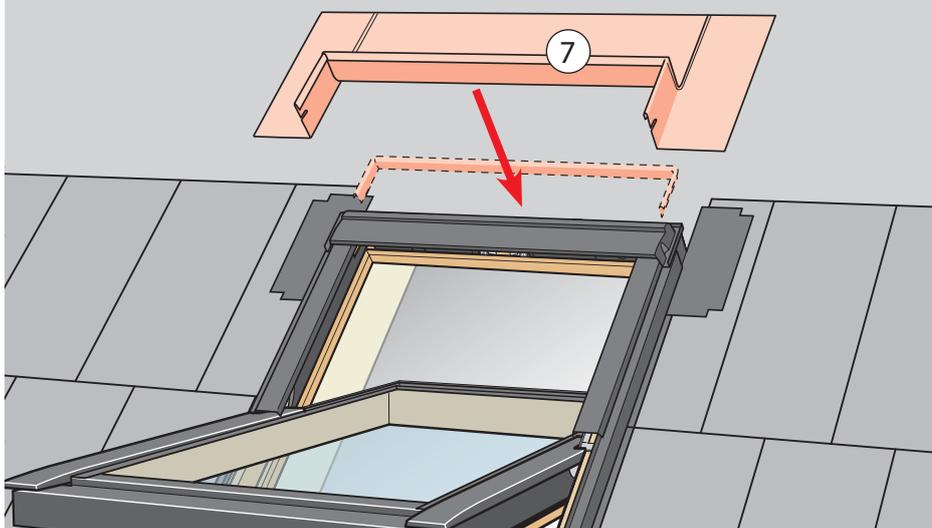


10



上部外装板⑥をねじで取り付けて下さい。

11

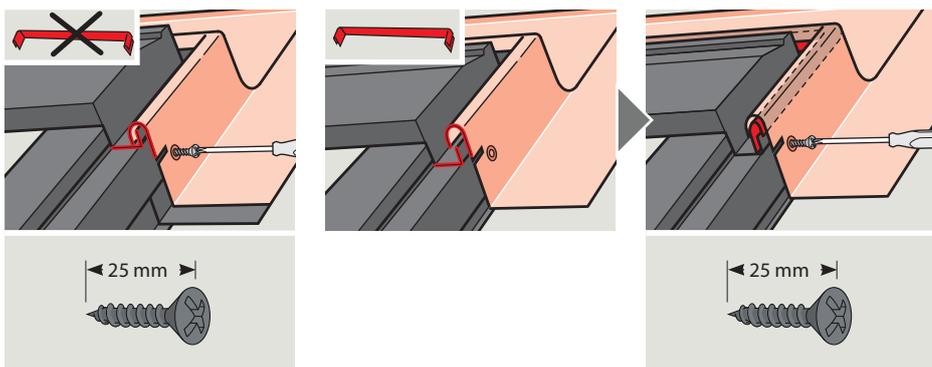


上部水切り⑦は、上部外装板の縁（へり）を被いかぶせるようにはめ込みます。

**重要!**

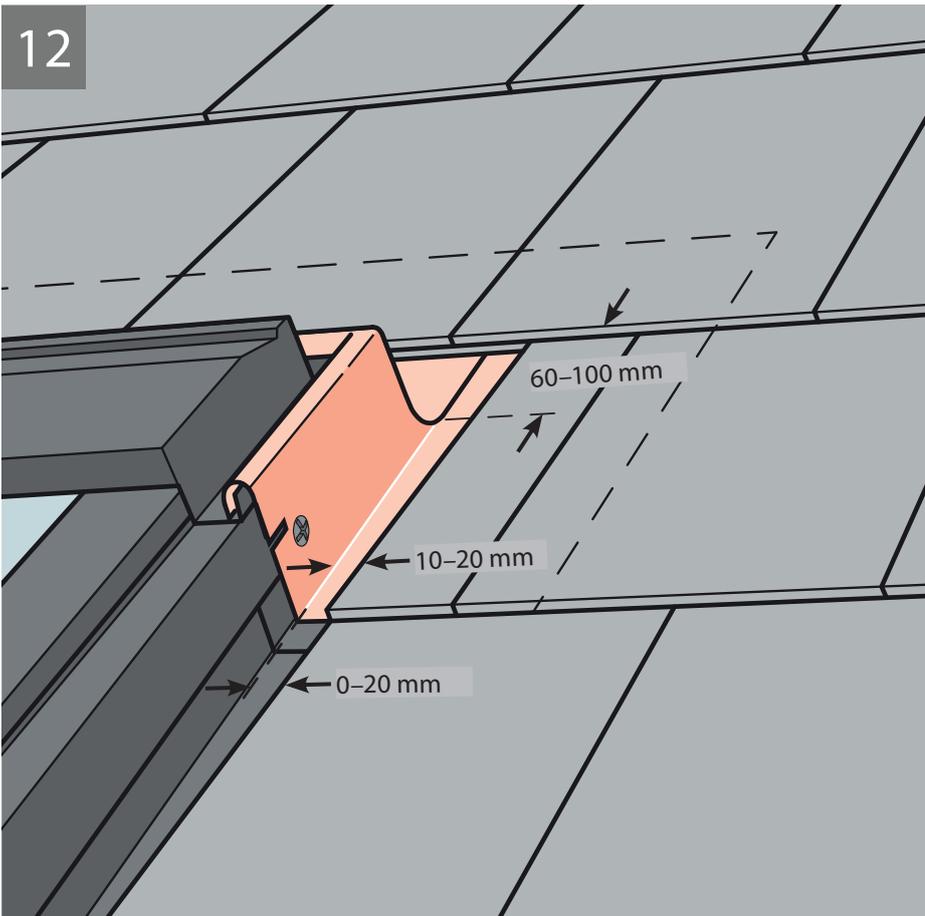
尚、上部水切りには、屋根材の厚みにより、高さ調節用にコの字型の枠かませが入っています。

上部外装板と上部水切りのかみ合わせにすき間が生じた場合は、枠かませを上部水切りの下に入れて調節して下さい（下中図、下右図）。



次に、下中図・下右図のように付属のねじで本体側面に固定して下さい。（側部外装板のリップは使いません。）

12

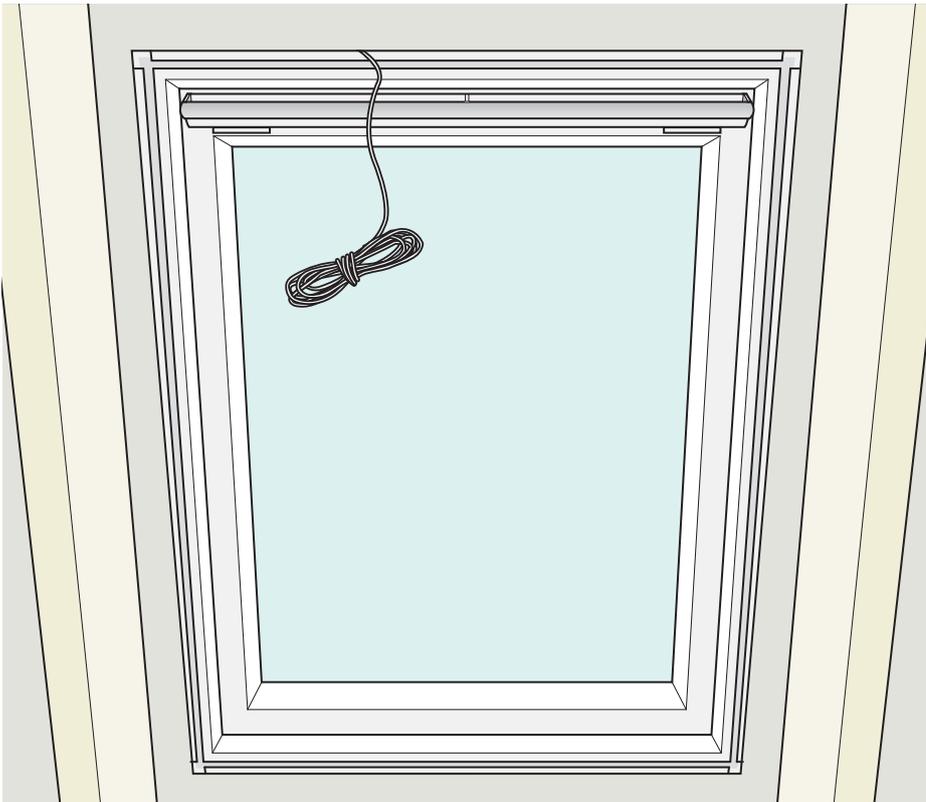


上部水切りの上の屋根材は、天窓上部より、60-100mm 開けて葺いて下さい。

水切りが屋根材からはみ出ても、カッター等で切り取らないで下さい。

**重要!**

尚、上部水切りの上には、必ず2枚の屋根材を重ねて下さい。1枚の屋根材だけですと、屋根材の継ぎ目から漏水する場合があります。

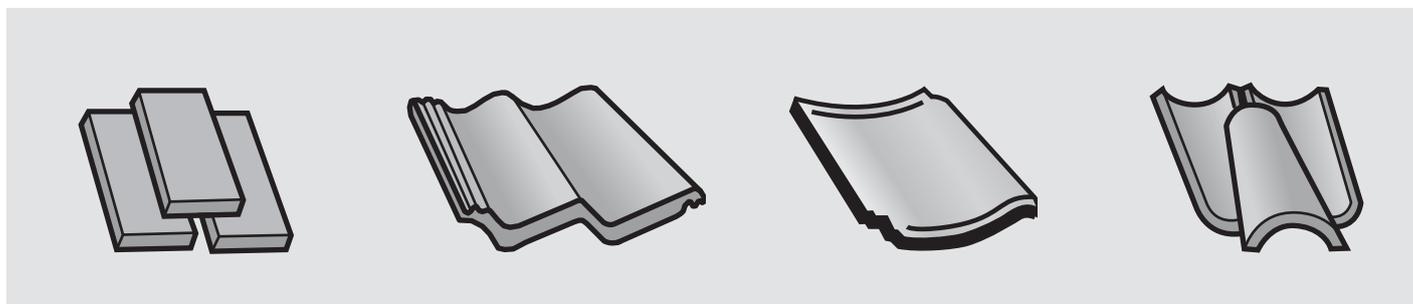


GGH電動タイプの場合、配線コードを野地板のすき間から室内側に入れて下さい。

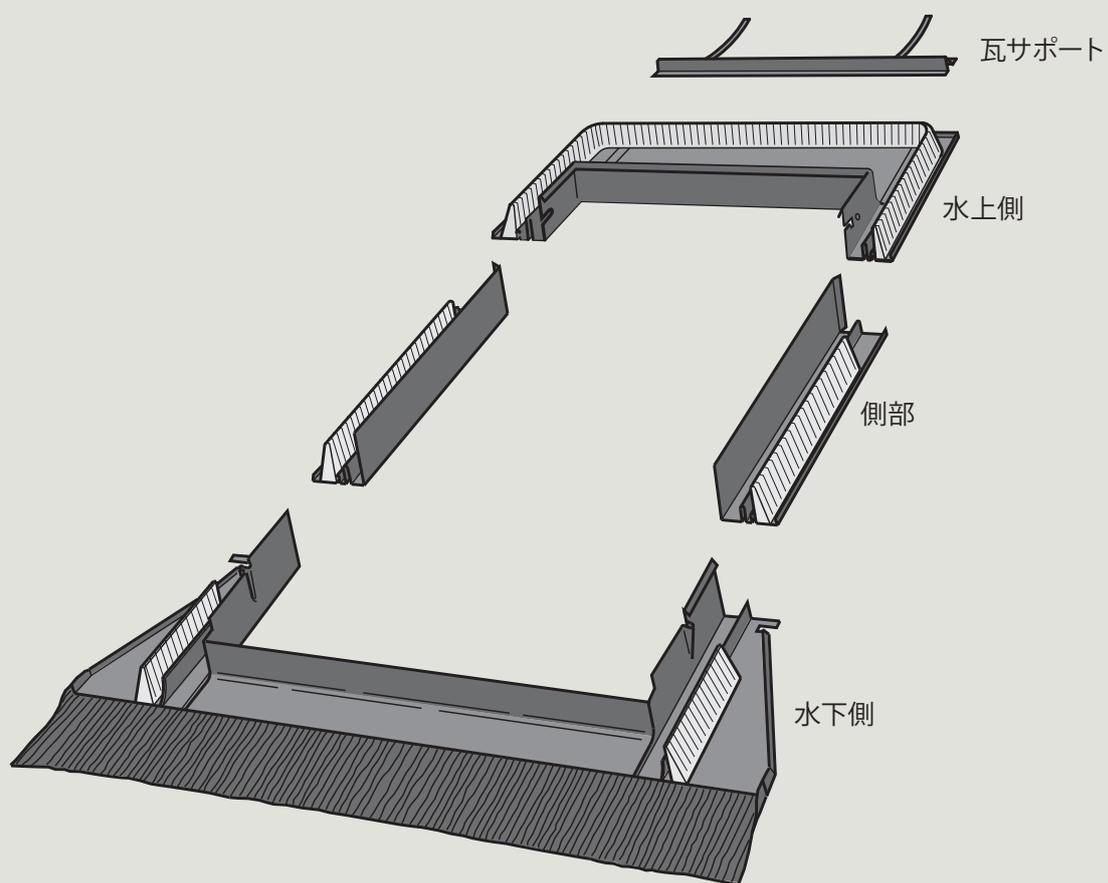


## 瓦用取り付け説明書 (平瓦・和瓦・波瓦・S型等)

・EDW型水切り使用



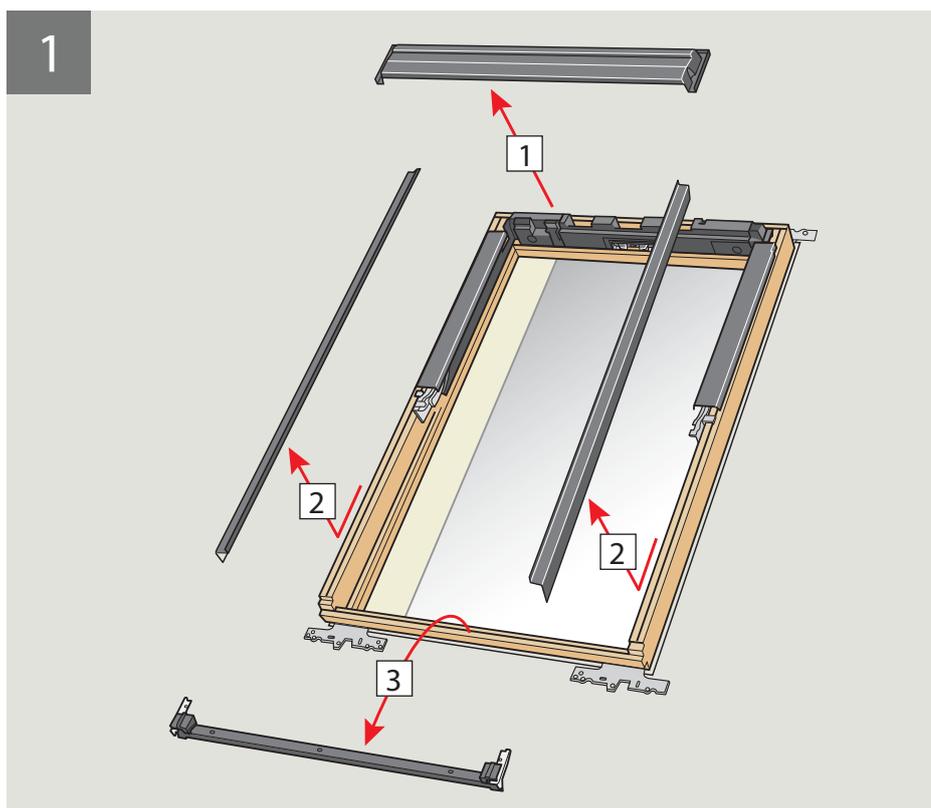
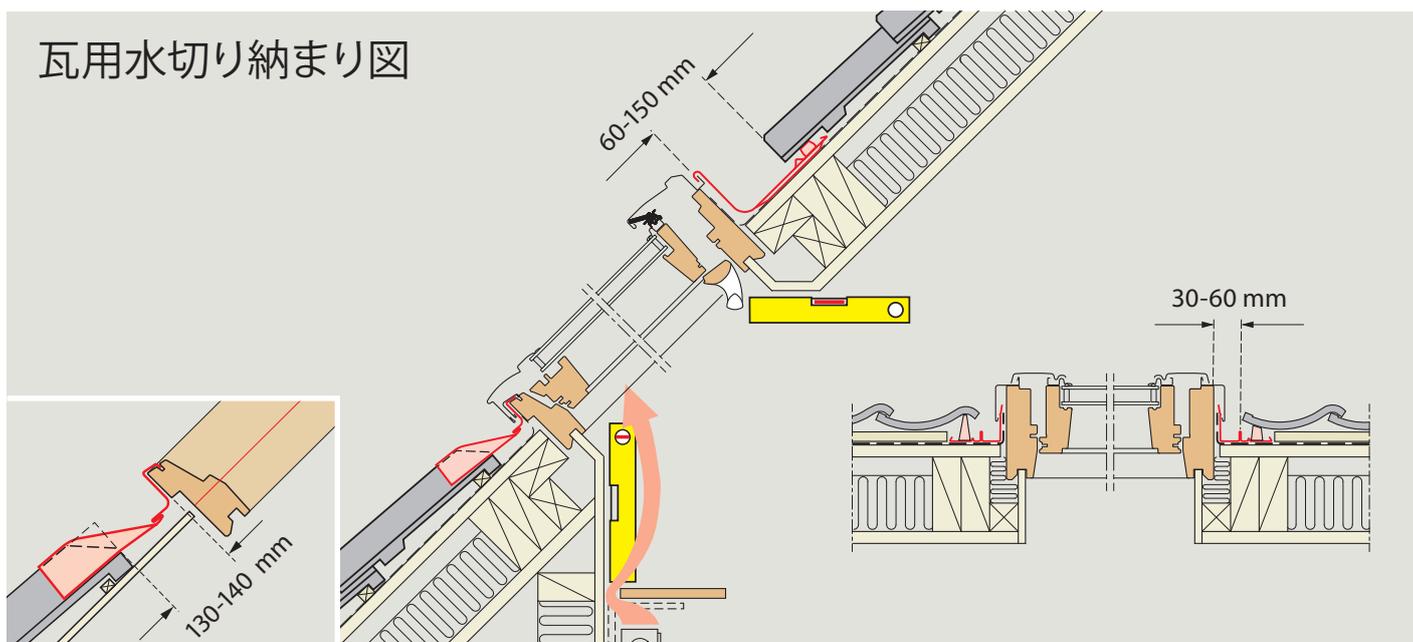
### EDW型水切り梱包仕様



### 梱包内容

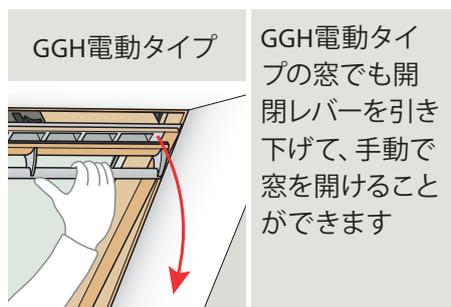
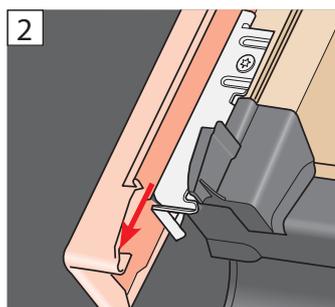
水上側	1 本
瓦サポート	1 本
側部	2 本
水下側	1 本
釘/ねじ	1 袋

## 瓦用水切り納まり図



まず、本体のアルミ外装板を一旦取り外して下さい。(1→2→3)  
後で戻すので、外装板やねじを紛失しないようご注意ください。

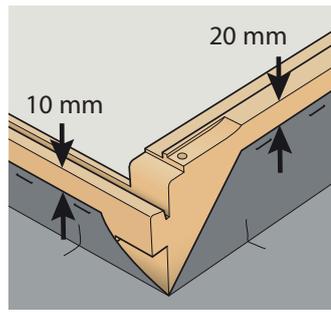
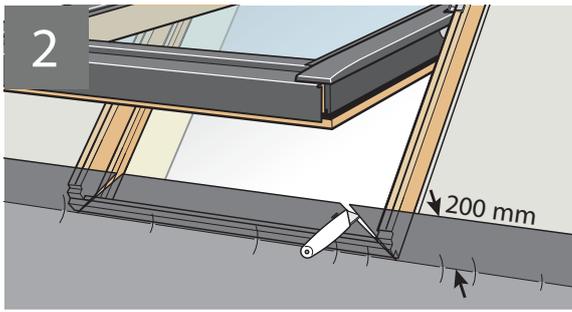
**重要!**  
ねじを外す際、付属のトルクスビットをご使用下さい。



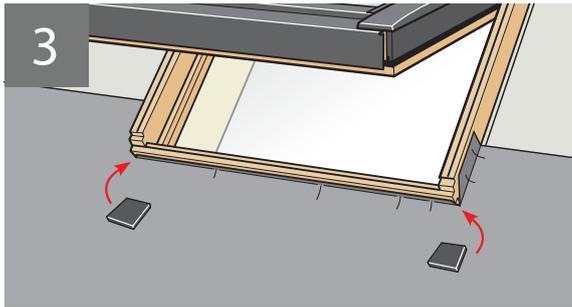
GGH電動タイプ

GGH電動タイプの窓でも開閉レバーを引き下げて、手動で窓を開けることができます

②の外装板を外す際、下にずらしてから外して下さい(図2)。

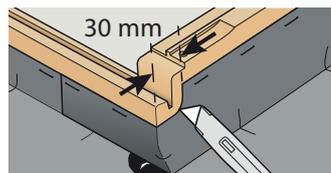
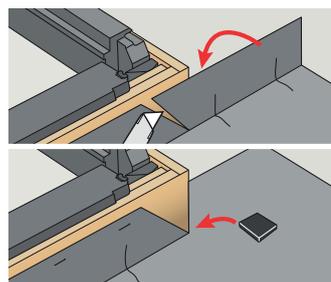
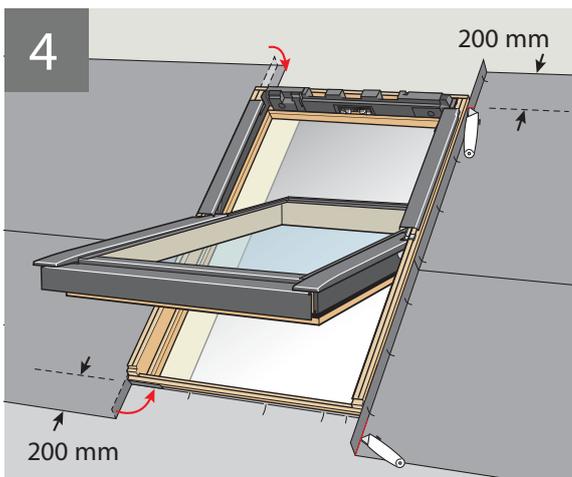


ルーフィングシートを本体上端より下部は10mm まで、側部、上部は20mm まで立ち上げます。(防水テープを貼るので木枠を残して下さい。) 左右のコーナーより内側に角度をつけてカットして、本体にタッカーで留めて下さい。



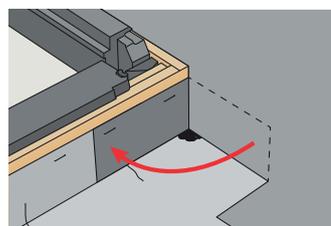
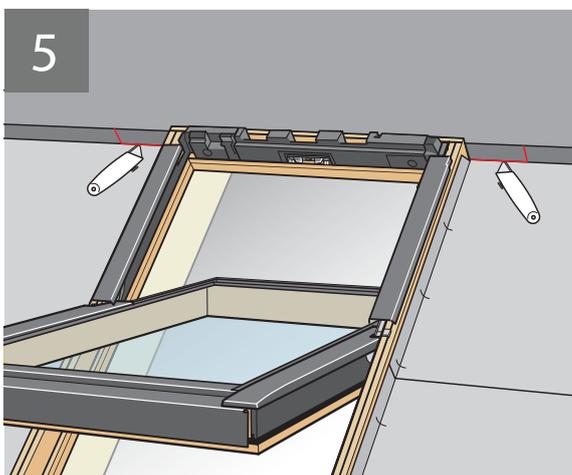
左右コーナーのピンホールを同梱のコーナブチルでふさいで下さい。

**注意!**  
コーナブチルをルーフィングシートにしっかり接着して下さい。角部分もしっかり延ばして下さい。

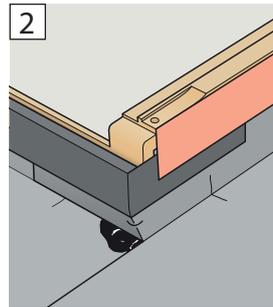
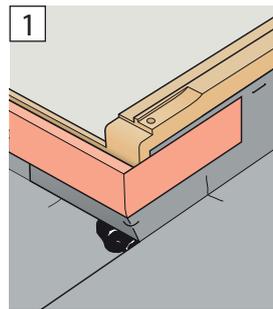
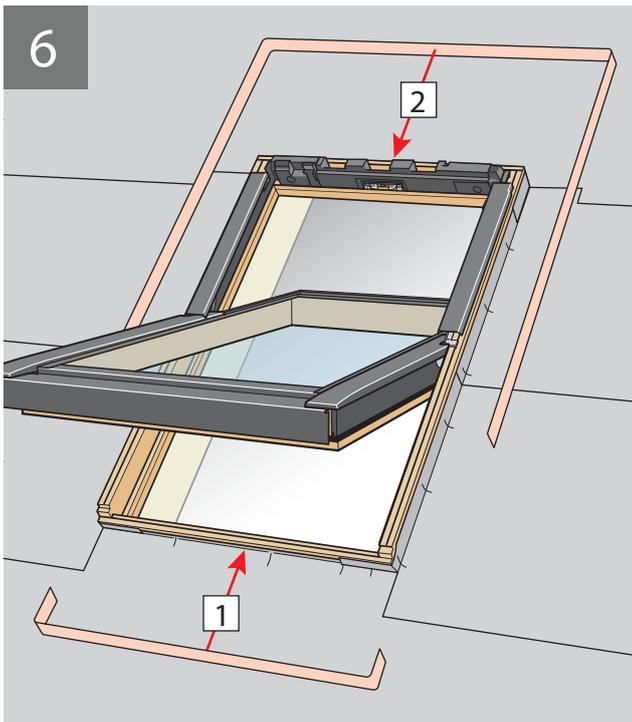


ルーフィングシートは本体サイドの上端より20mm 下まで立ち上げ、下部はまっすぐにカットして内側に折り曲げてタッカーで留めて下さい。  
上部は左右コーナーより角度をつけてカットして下さい。  
次にコーナブチルを接着して下さい。

**注意!**  
下部コーナーの余計なルーフィングシートを左図のように切り取って下さい。



上部木枠も上端より20mm 下までルーフィングシートを立ち上げ左図の要領でカットして折り曲げてタッカーで留めて下さい。



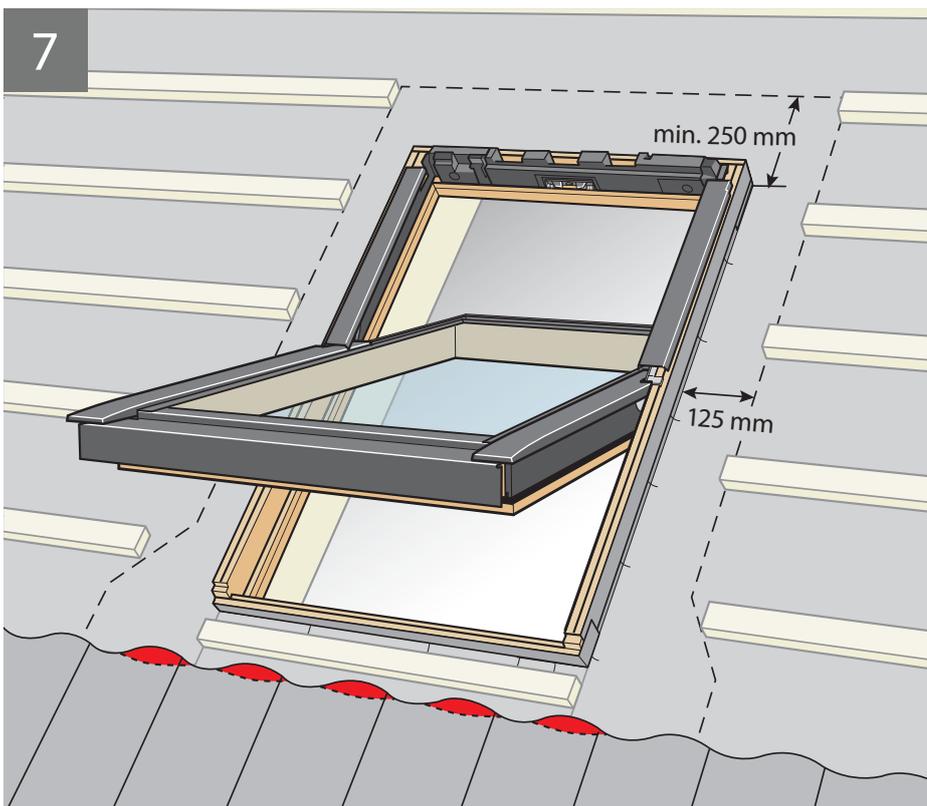
左図のように窓四方に同梱の防水テープを貼って下さい。

まず、本体下部は木枠の溝まで貼って下さい(図1)。

次に側部および上部に防水テープを貼ります(図2)。

注意!

木枠とルーフィングシートに防水テープがしっかり接着していることを確認して下さい。



窓枠下部の面と下に納まる瓦とのすき間は130-140mm 開けて下さい。

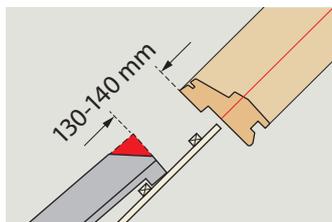
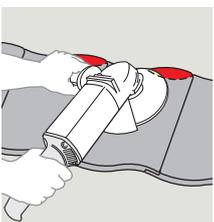
注意!

瓦棧は窓枠側面より125mm 離れた所で止め、上部は250mm 開けて下さい。

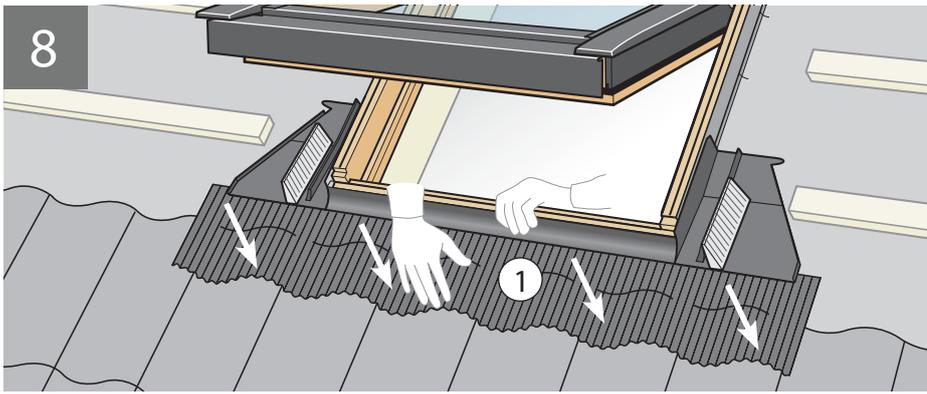
水切りは野地板の上に乗ります。窓枠と瓦の間に瓦棧等を入れてエプロンが逆勾配にならない様調整して下さい。

重要!

窓枠下部の真下に納まる瓦は、左図に示すように角をカッター等で削り取って雨水が滞らないよう調整して下さい。

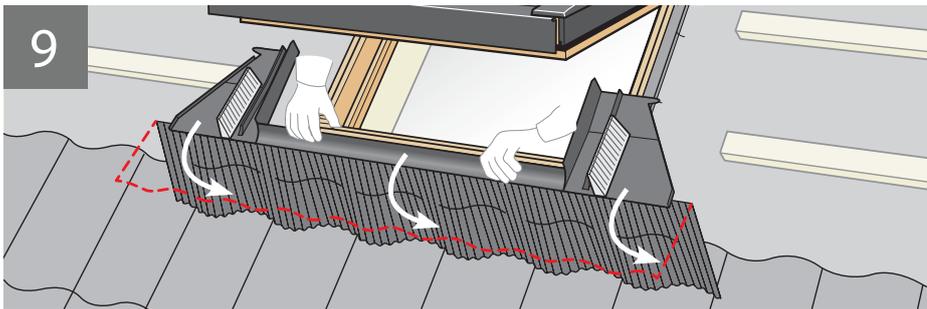


瓦と本体との間隔を、左図を参考にとって下さい。

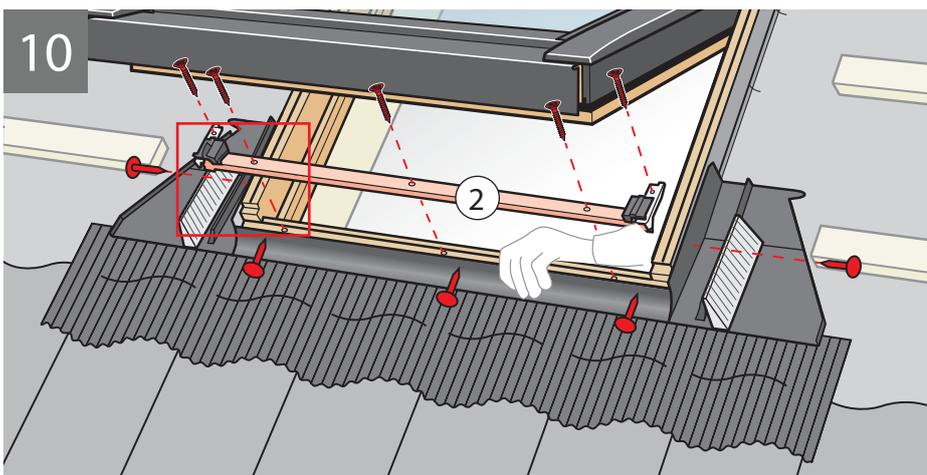
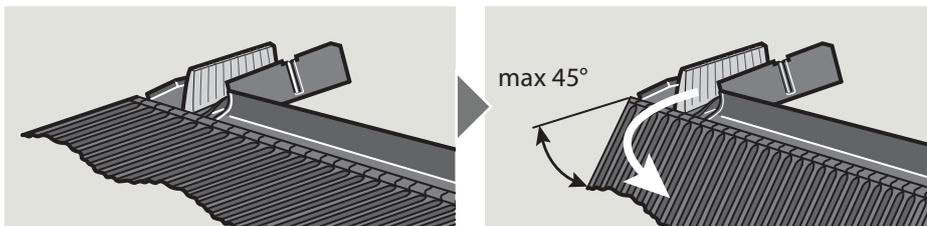


下部水切りは左図のように仮に本体にはめ込み、エプロン部を瓦の起伏に合わせて延ばして下さい。

\*瓦とエプロンの重なりが少ない場合は、延長エプロン（別売）をご利用下さい。

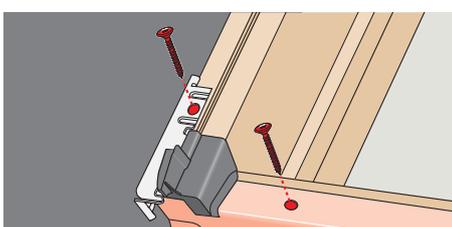


一旦下部水切りを外し、エプロン部を下右図のように45° 曲げます。このようにしますと、エプロン部と瓦のすき間が最小限に抑えられます。



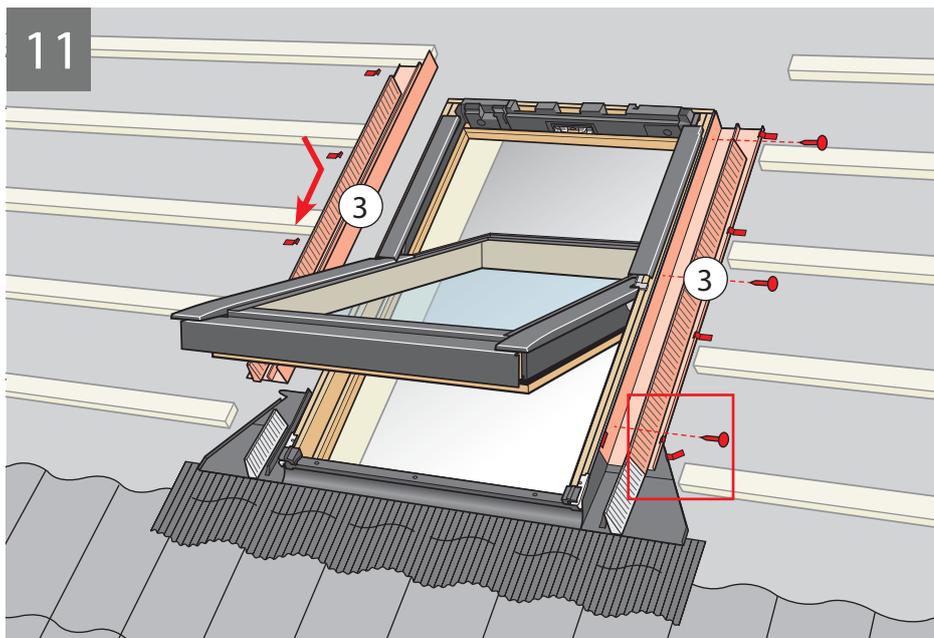
**重要!**  
強風時のエプロン部めくれを防止する為、瓦とエプロン部を点付けで接着して下さい。

下部水切りを窓枠にはめ込み、釘で本体に固定して下さい。  
次に、外装板②をねじ留めします。この時、コーナーガasketの突起部を外枠のガイド穴に差し込み、外装板と端部L型金属プレートをねじで留めて下さい。



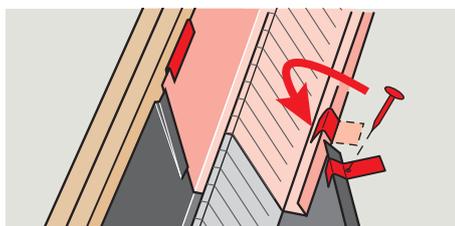
**重要!**  
ねじ留めの際、付属のトルクスビットをご使用下さい。

11

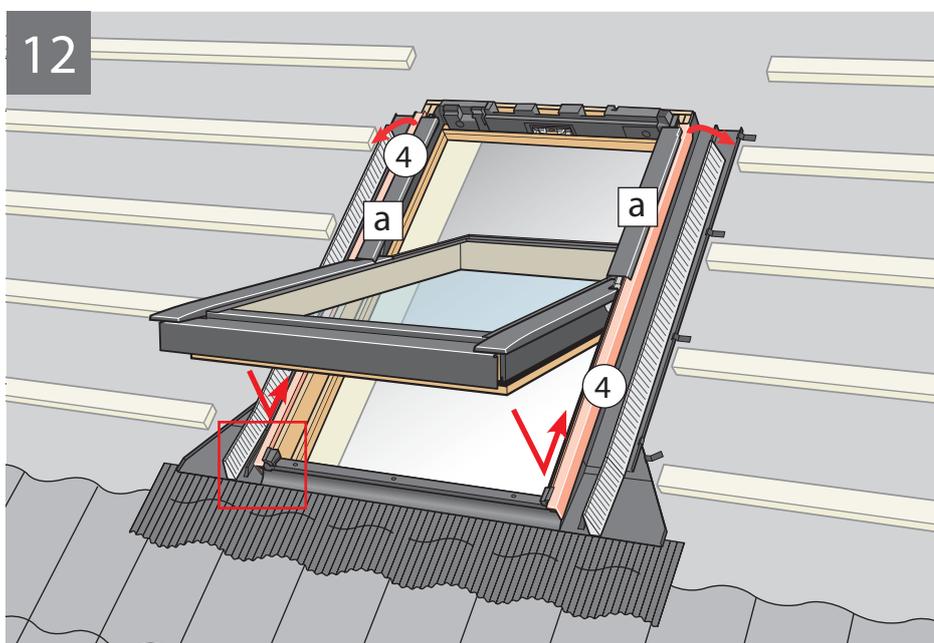


側部水切り③は、下左図のように下部水切りの折り返し部分に差し込み、切り込み羽を折り返して下さい。さらに本体へは、付属の釘で固定し、野地板へは付属の縁留め金具で留めて下さい。

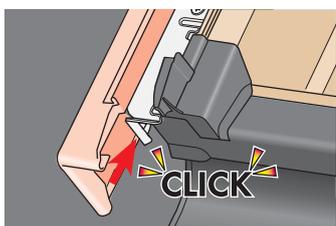
注意！  
水切りを瓦棧の上に乗せないで下さい。



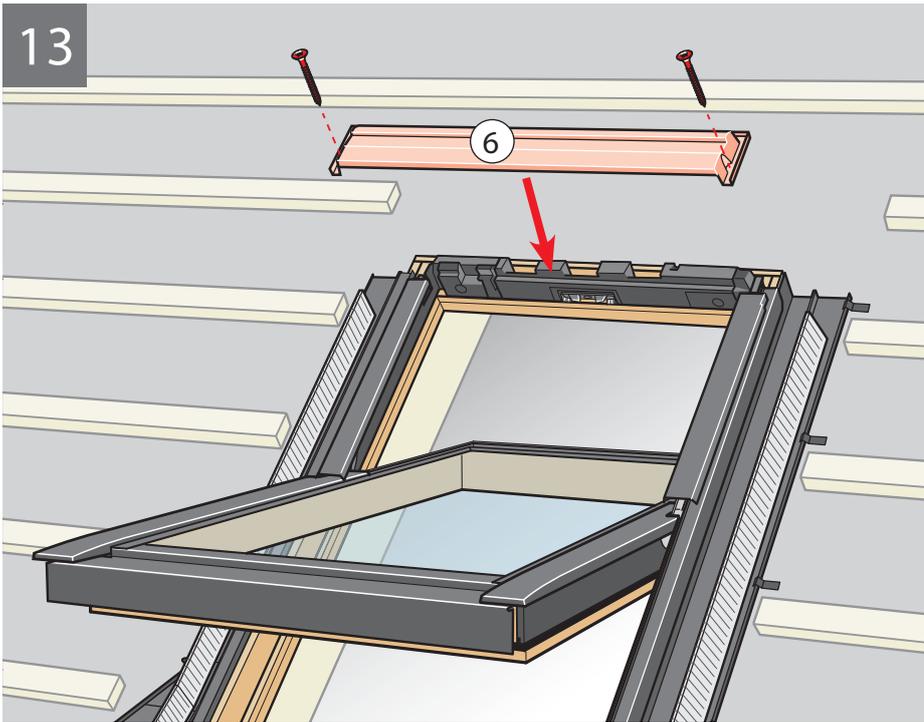
12



側部外装板④を取り付ける際、aの外装板に下から差し込み、下部外装板の端部L型金属プレートにしっかり差し込んで下さい（下図）。また、上部で当たる場合、少し外側に開いて差し込んで下さい。

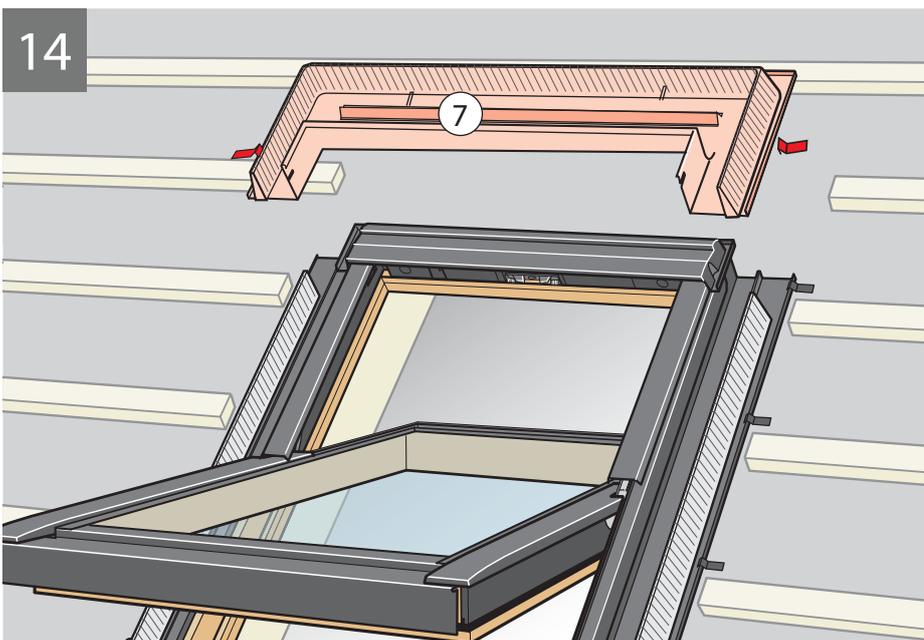


13



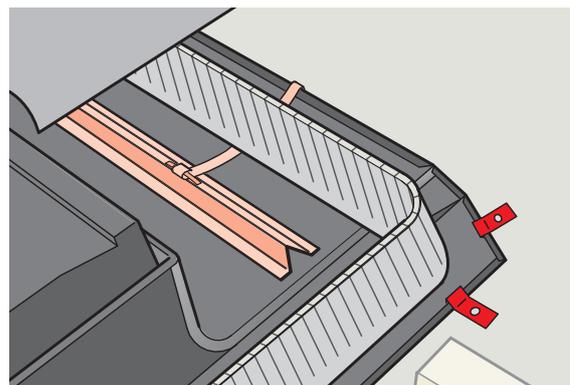
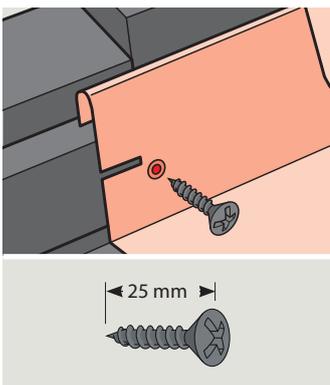
上部外装板⑥をねじで取り付けて下さい。

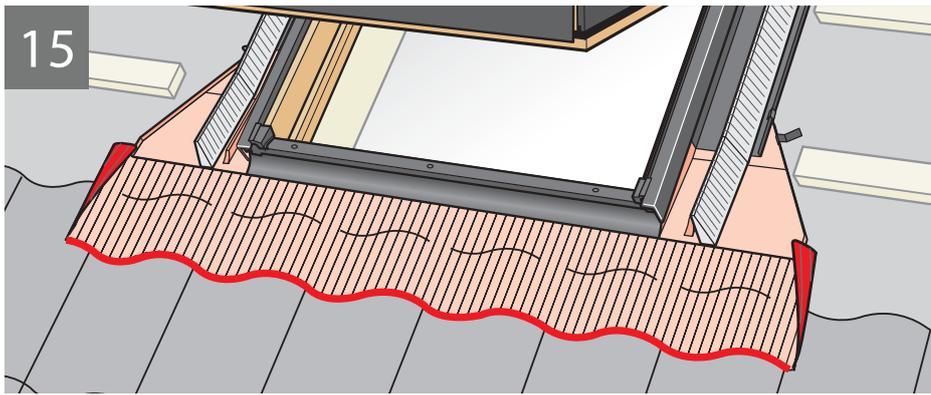
14



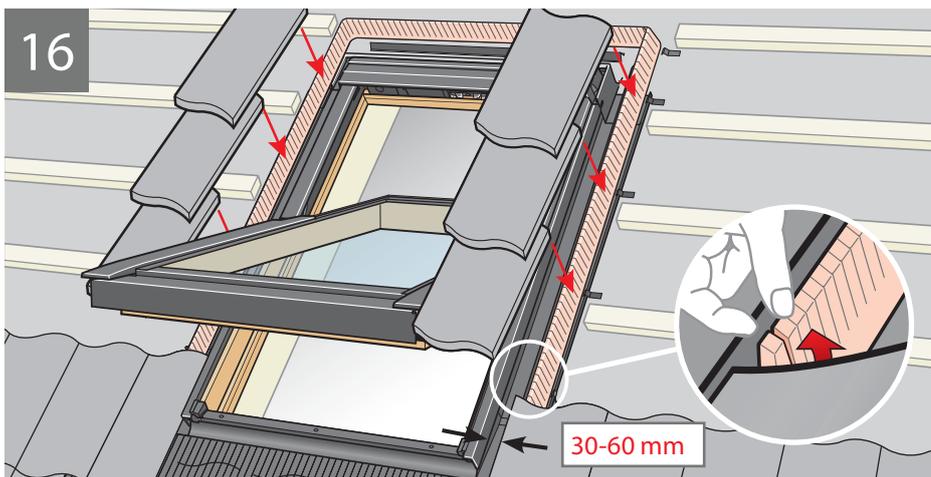
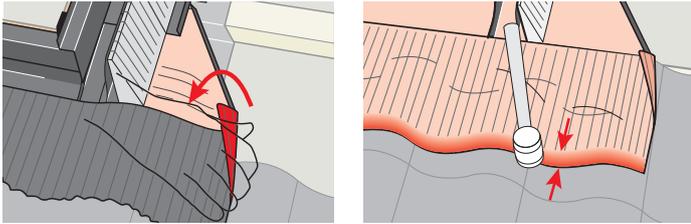
上部水切り⑦は、上部外装板⑥の縁（へり）を被いかぶせるようにはめ込みます。  
次に、付属のねじを用いて、本体側面に固定して下さい（下左図）。（側部外装板のリップは使いません。）

野地板へは付属の縁留め金具で留めて下さい。  
尚、上部水切りには、天辺にくる瓦が横の瓦と高さのバランスを崩さぬよう瓦サポートが入っています。  
この瓦サポートを上部水切りの中央に置きウレタンの下から2枚の留め金具を差し出して、上部水切りの下へ折り込みます。





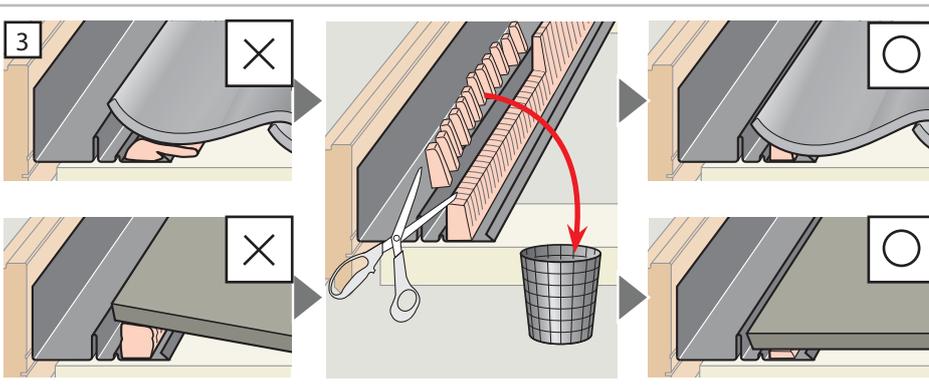
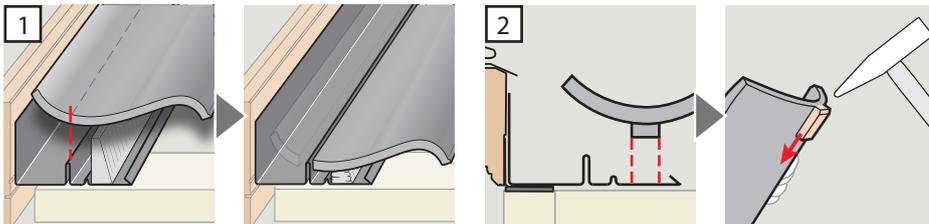
下部水切りのエプロン部の左右端を1cm 折り返して、雨水が横に流れないように立ち上げて下さい（下左図）。次に、エプロン部と瓦との隙間が できないように瓦の起伏に合わせてプラスチックハンマー等で入念に延ばして下さい（下右図）。



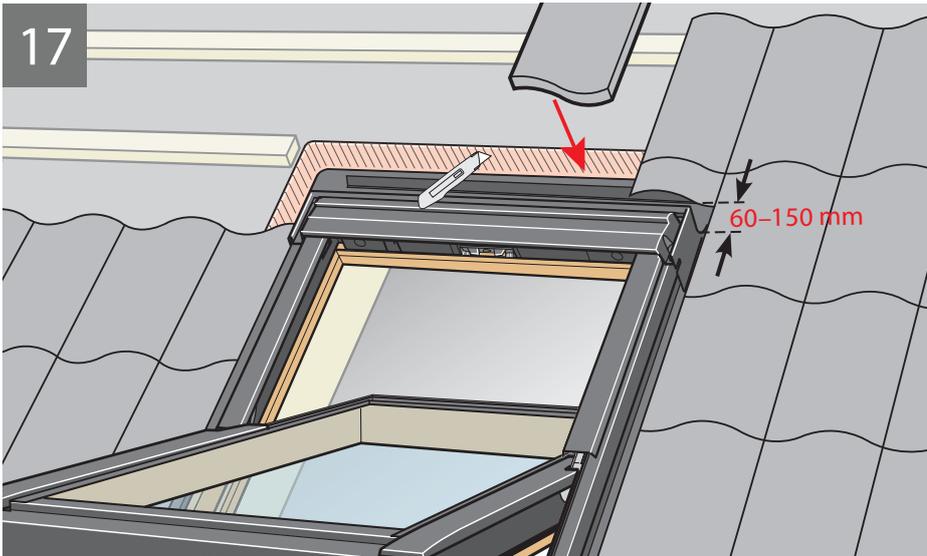
窓枠側部と側列の瓦とのすき間は30-60mm 開けて下さい。

瓦をより安定させるために瓦の起伏に合わせて次のような加工を施して下さい。

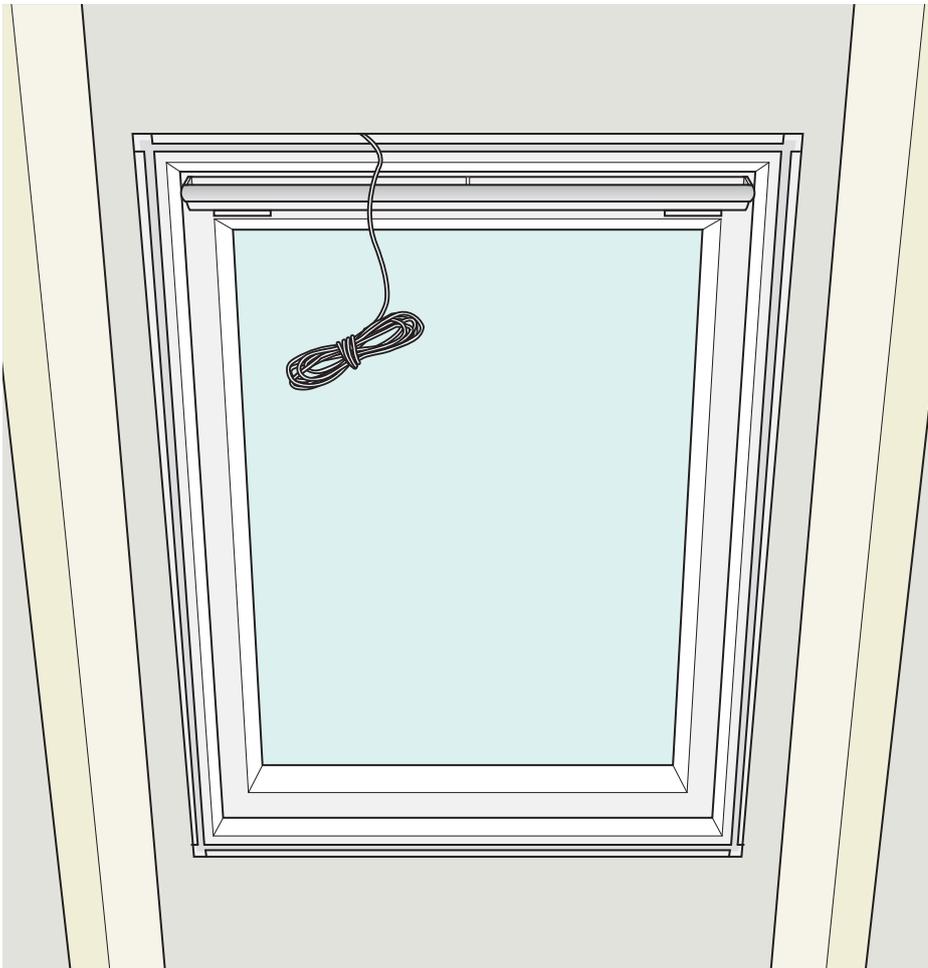
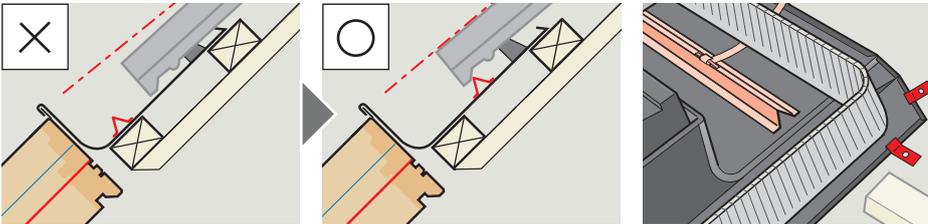
- a. ウレタンをカットして、瓦の高さに合わせる。
- b. 幅の狭い瓦の場合、銅線で瓦棧に緊結して下さい。



17



上部水切りのウレタンを瓦の起伏に合わせてカットして下さい。  
 上部水切りと天辺にくる瓦のすき間は60-150mm 開けて下さい。  
 天辺にくる瓦が横の瓦と高さのバランスを崩さぬよう瓦サポートを瓦の下に合わせて下さい(下図)。



GGH電動タイプの場合、配線コードを野地板のすき間から室内側に入れて下さい。



## 鋼板横葺き用取り付け説明書

・鋼板横葺き施工参考例/積雪地仕様

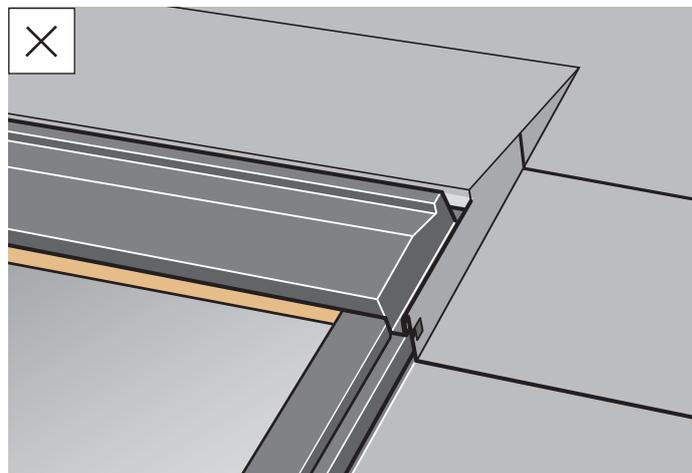
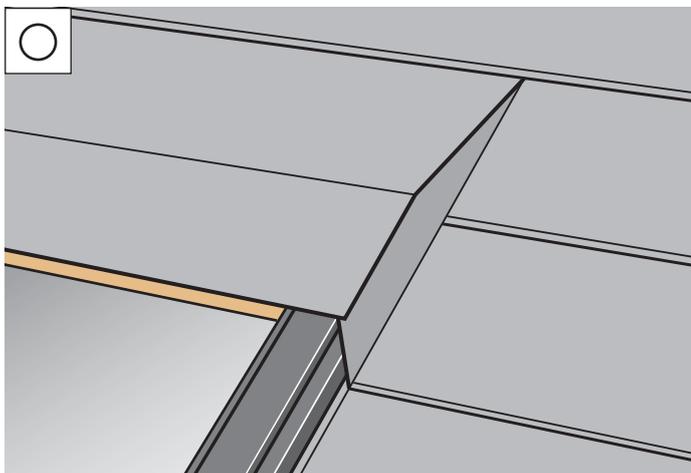
\*瓦棒・ステンレス・銅板等をご使用の際にも参考例として参照下さい。



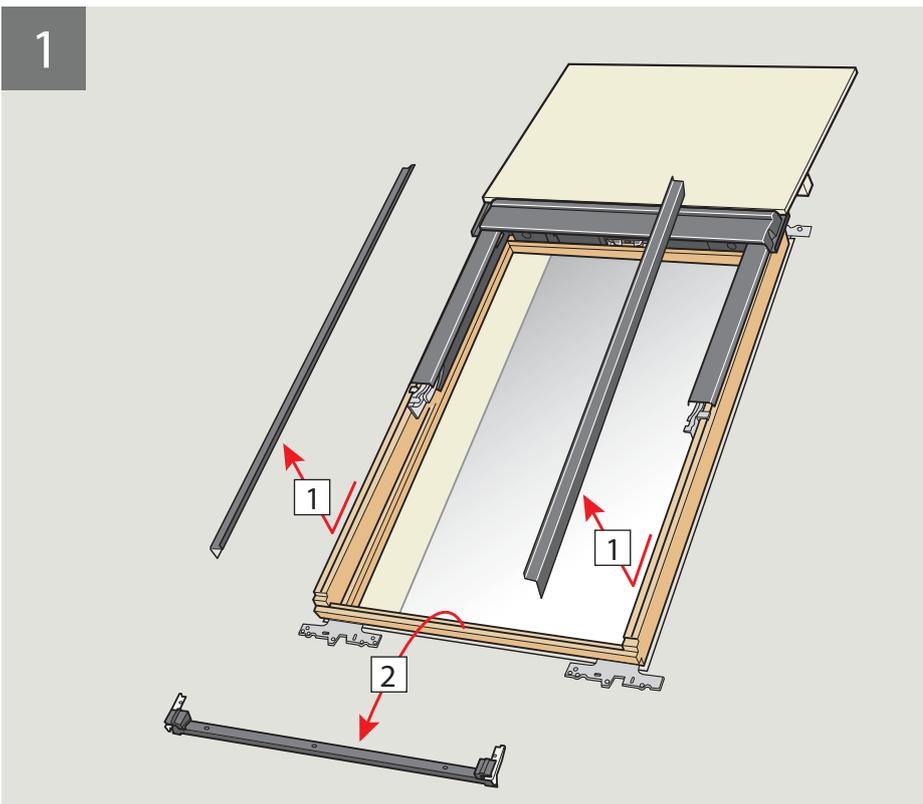
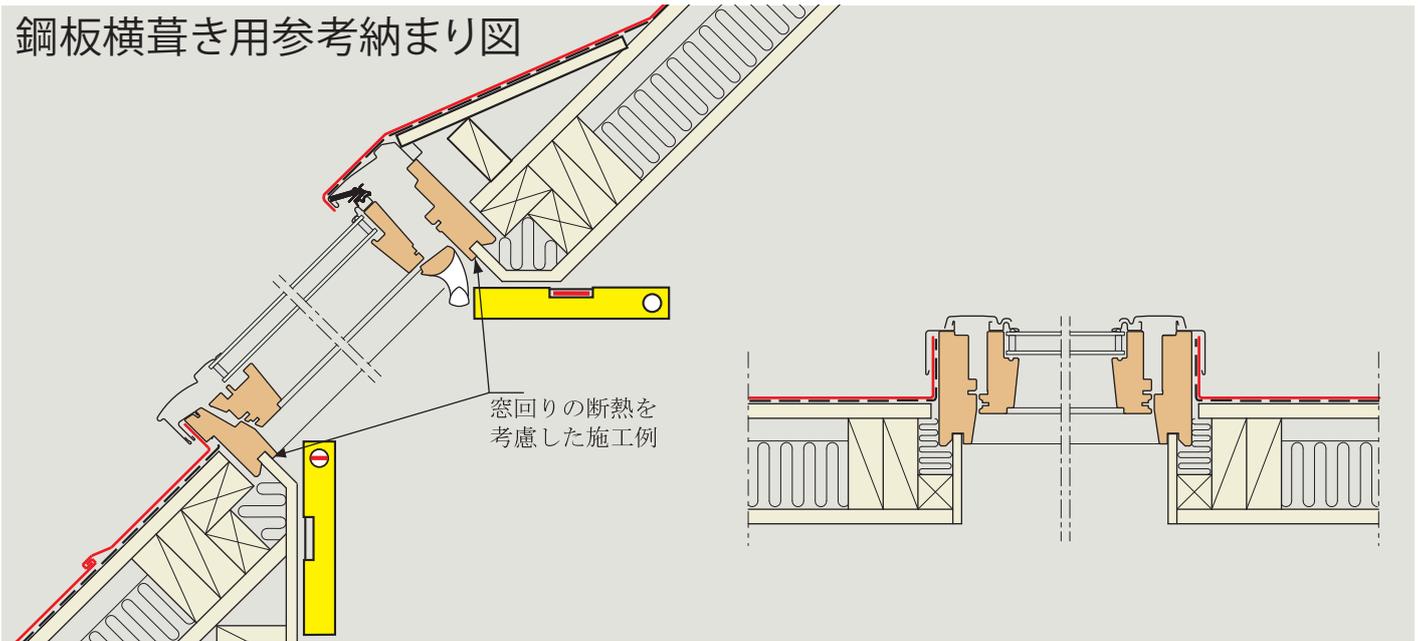
## 多雪区域での施工上の注意

多雪区域では建築地の積雪状況、すが漏れ、落雪等を考慮の上、天窓上部や周辺部に雪が溜まらないように施工して下さい。

同区域の鋼板屋根には天窓上部にジャンプ台を施工して下さい。ジャンプ台は中途半端に納めますと上部に雪が溜まり、すが漏れ等クレームの原因になる場合があります(下図)。

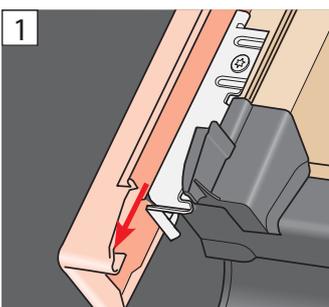


## 鋼板横葺き用参考納まり図



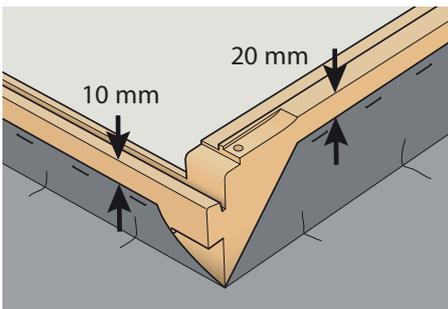
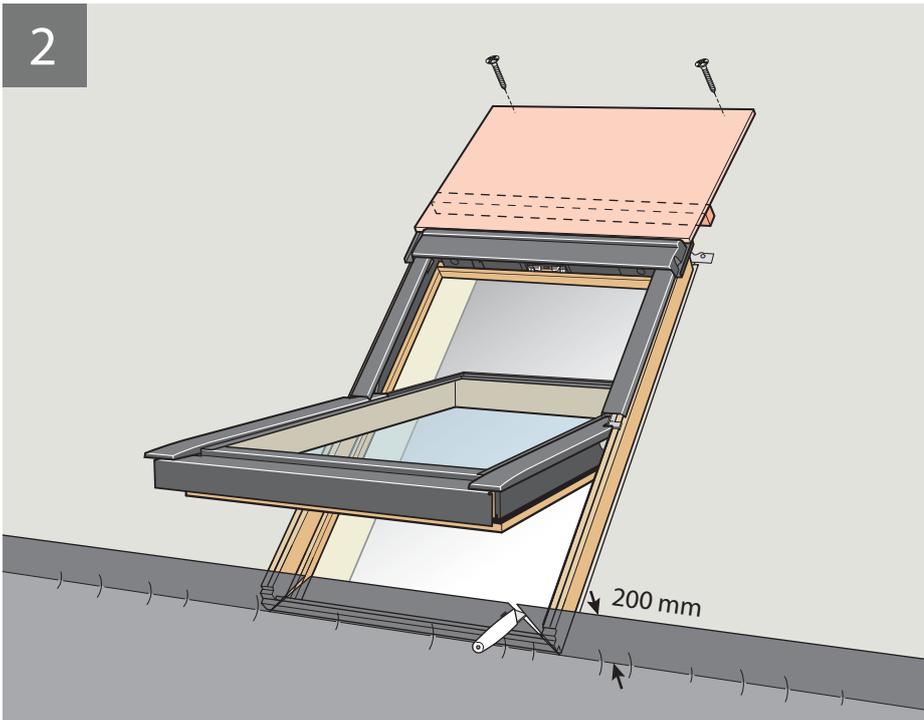
まず、本体のアルミ外装板を一旦取り外して下さい。(1→2)  
後で戻すので、外装板やねじを紛失しないようご注意ください。

**重要!**  
ねじを外す際、付属のトルクスビットをご使用下さい。



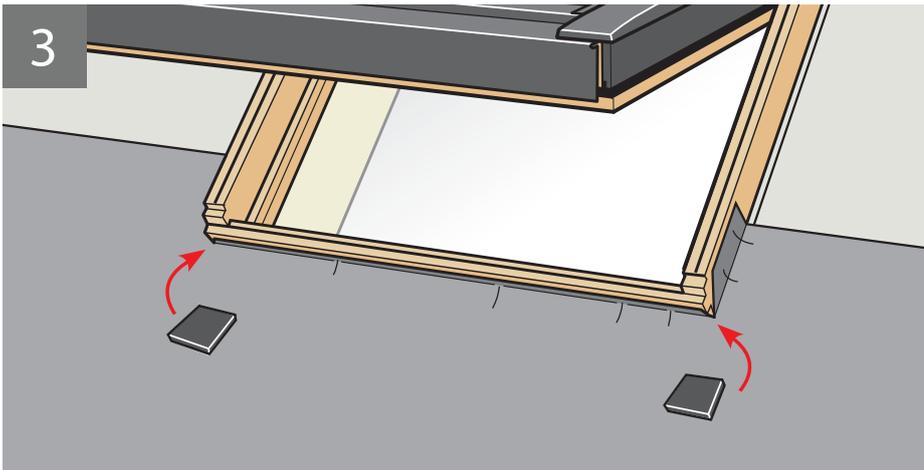
GGH電動タイプの窓でも開閉レバーを引き下げて、手動で窓を開けることができます

2



ルーフィングシートを本体上端より下部は10mm まで、側部、上部は20mm まで立ち上げます。(防水テープを貼るので木枠を残して下さい。) 左右のコーナーより内側に角度をつけてカットして、本体にタッカーで留めて下さい。  
ジャンプ台の施工は12ページをご覧ください。

3

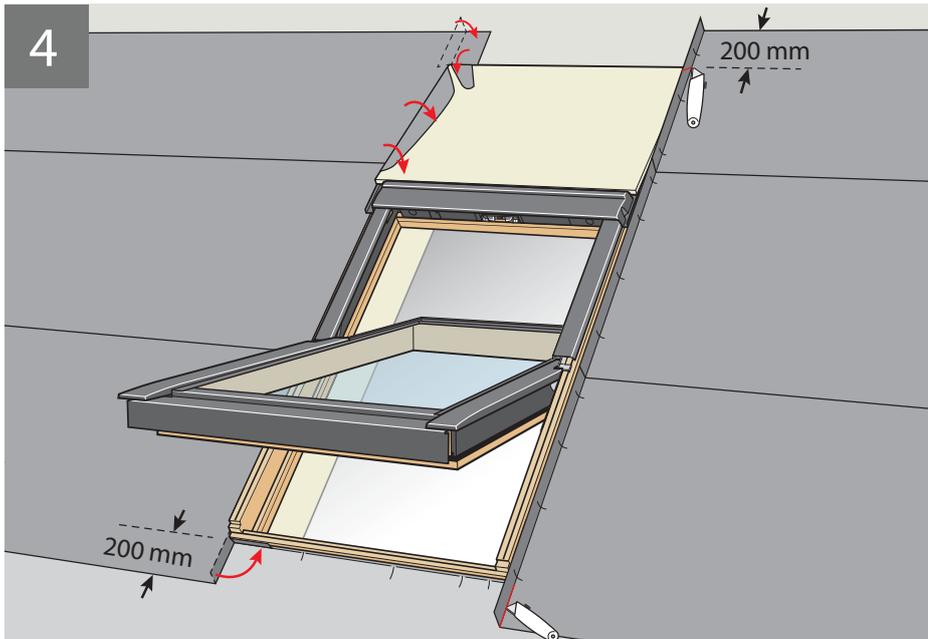


左右コーナーのピンホールを同梱のコーナーブチルでふさいで下さい。

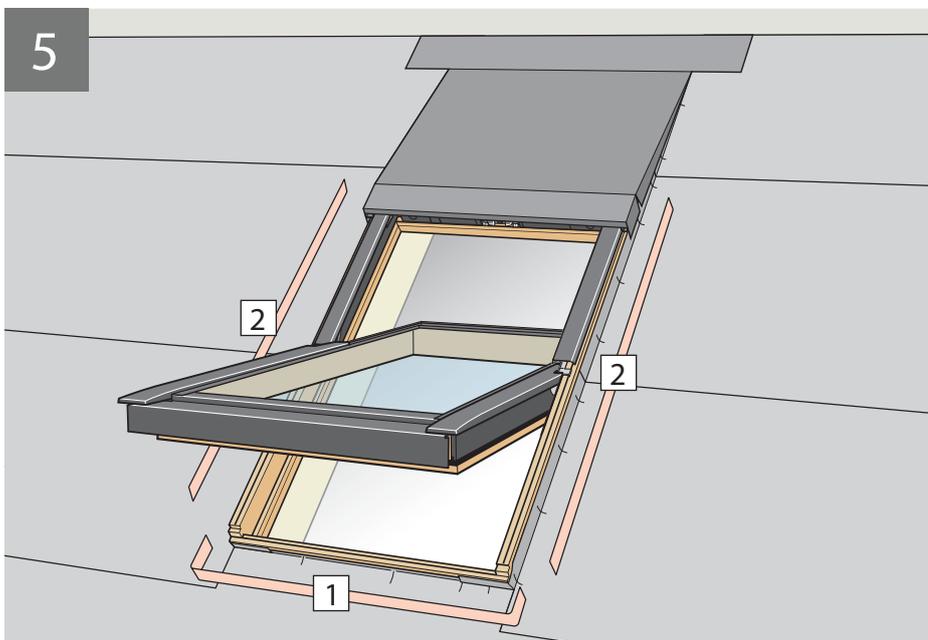
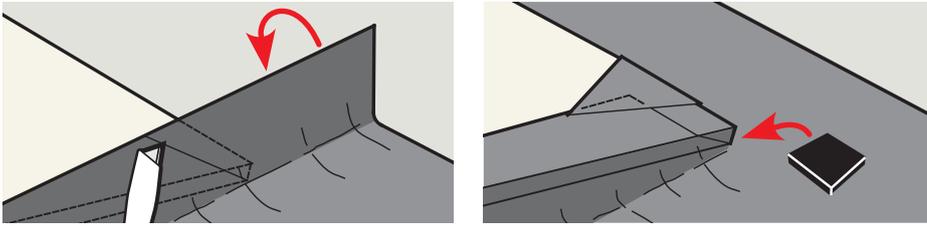
注意!

コーナーブチルをルーフィングシートにしっかり接着して下さい。角部分もしっかり延ばして下さい。





ルーフィングシートは、ジャンプ台の上部まで立ち上げ、角度をつけてカットして下さい。下部はまっすぐにカットして内側に折り曲げ、タッカーで留めて下さい。側部は本体上端より20mm 下まで立ち上げて下さい。ジャンプ台の上部コーナーは付属のコーナーブチルでピンホールをふさいで下さい。



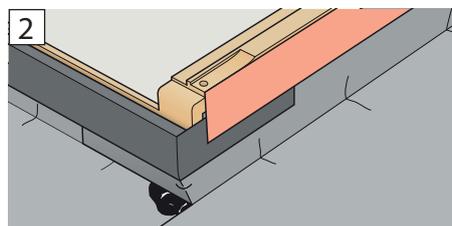
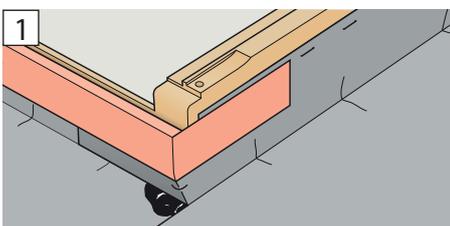
ルーフィングシートはジャンプ台の上部も被って下さい。重ねしろ及びルーフィングシートに切れ目のある箇所にはコーキングを打って下さい。

左図のように窓周りに同梱の防水テープを貼って下さい。

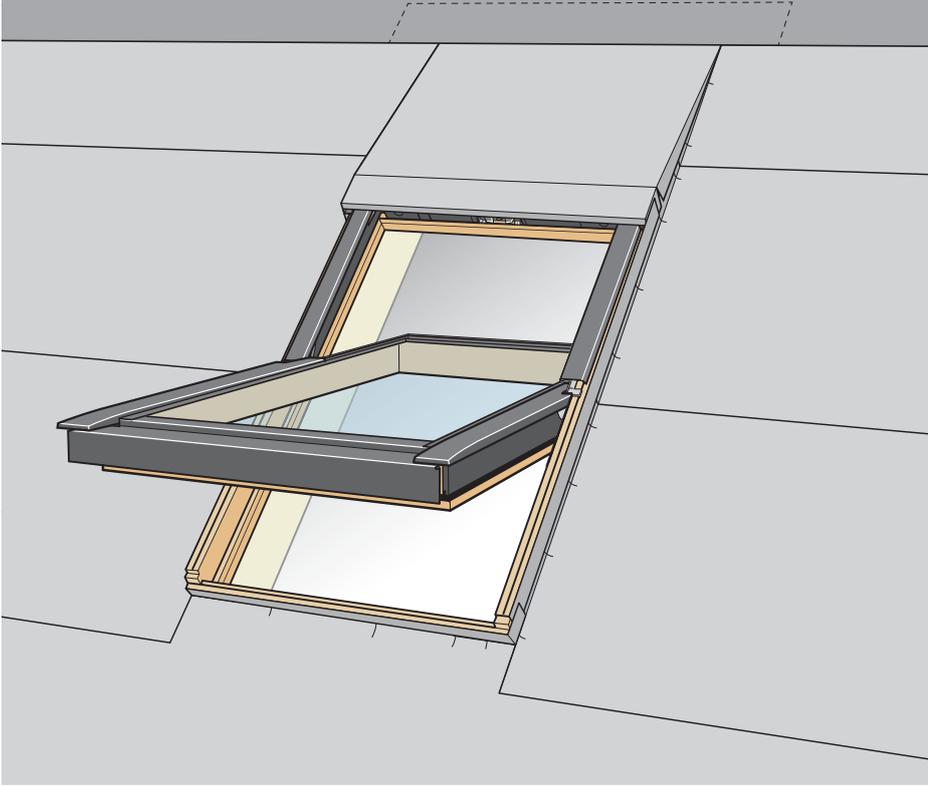
まず、本体下部は木枠の溝まで貼って下さい(図1)。次に側部に防水テープを貼ります(図2)。

**注意!**

木枠とルーフィングシートに防水テープがしっかり接着していることを確認して下さい。

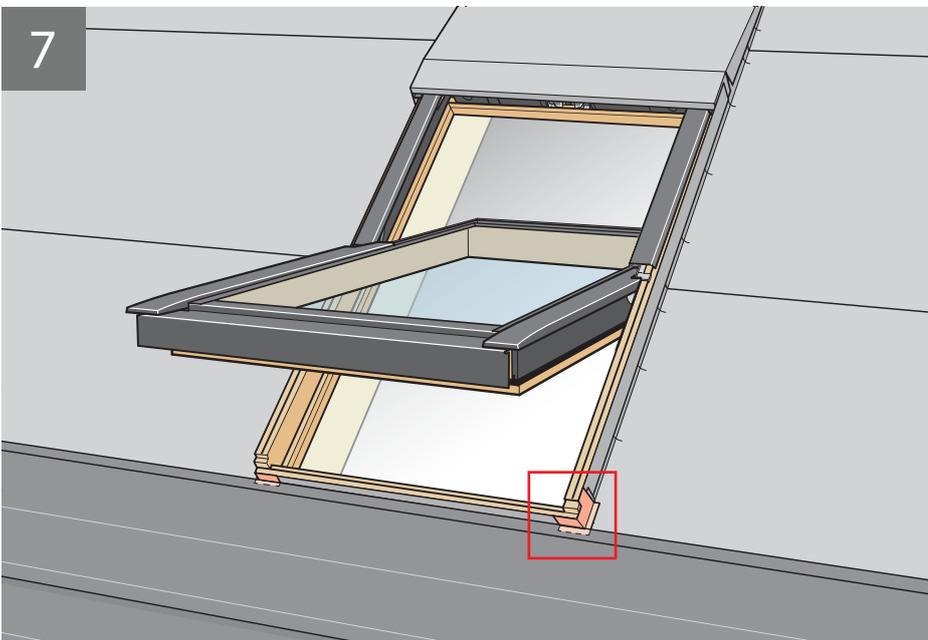


6



ジャンプ台上部を被いかぶせるようにルーフィングシートを貼って下さい。

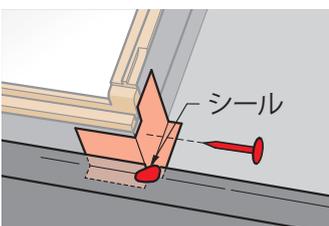
7

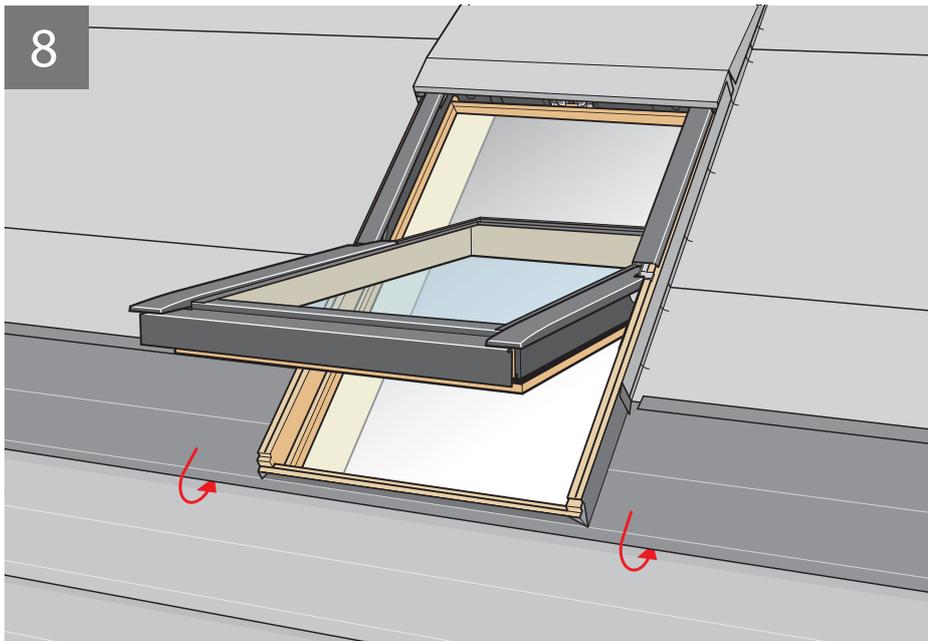


窓枠底部の両隅へ捨板を入れ、角部分にコーキングを打って下さい。

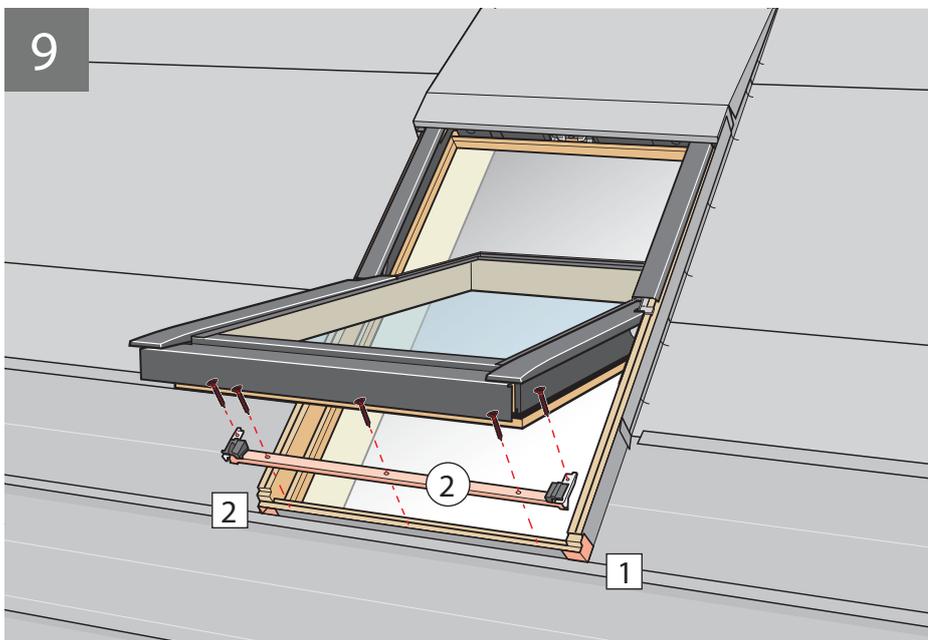
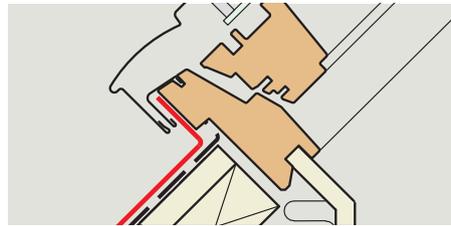
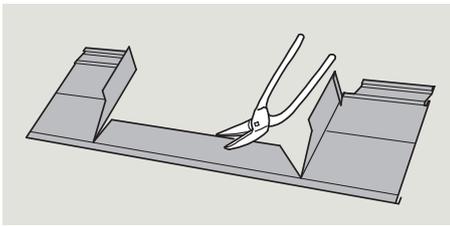
**重要!**

26mm 以上の釘を打たないで下さい。  
内枠まで貫通すると窓の開閉ができなくなります。



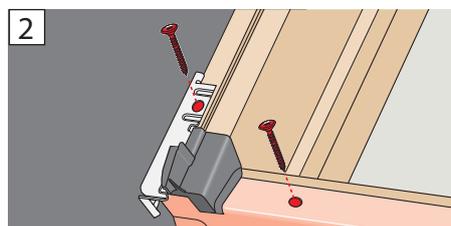
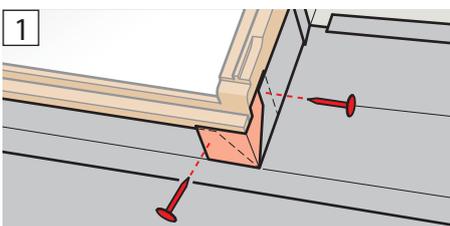


あらかじめ窓枠底部の形状に合わせて切り込みを入れた屋根材を図のように捨板の上に葺いて下さい。尚、立ち上がりの高さを窓枠の天端の少し下に合わせて下さい。

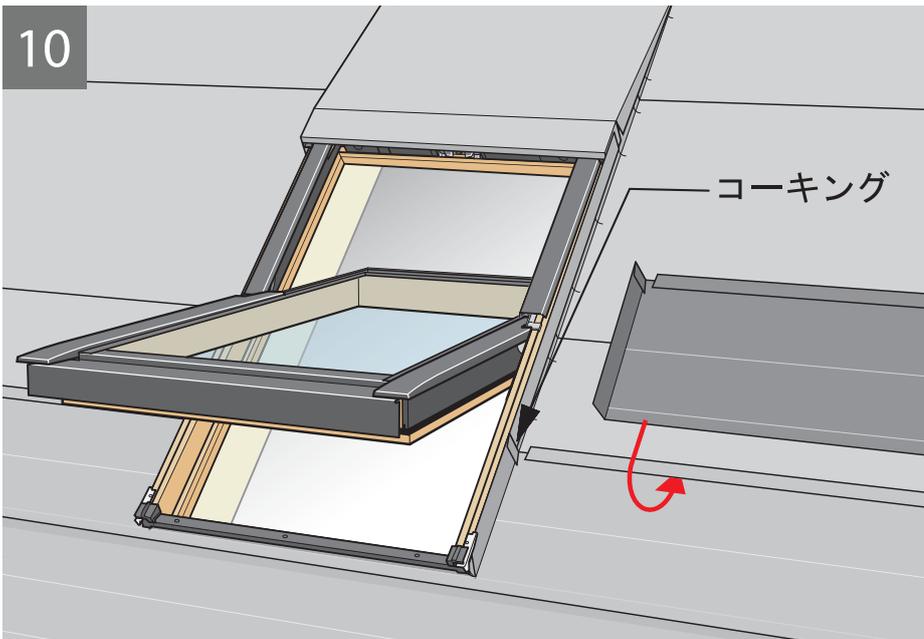


さらに底部の両隅へもう一度捨板を重ねます。その際、側面は⑦で入れた捨板と⑧の屋根材の間へはさみ込みます。また、底部は⑧の屋根材の外側から釘留めします。次に①で外した下部外装板2を元の位置に取り付けます。この時、コーナーガasketの突起を、外枠のガイド穴に差し込み、外装板と端部L型金属プレートをねじ留めして下さい(図2)。

**重要!**  
ねじ留めの際、付属のトルクスビットをご使用下さい。



10

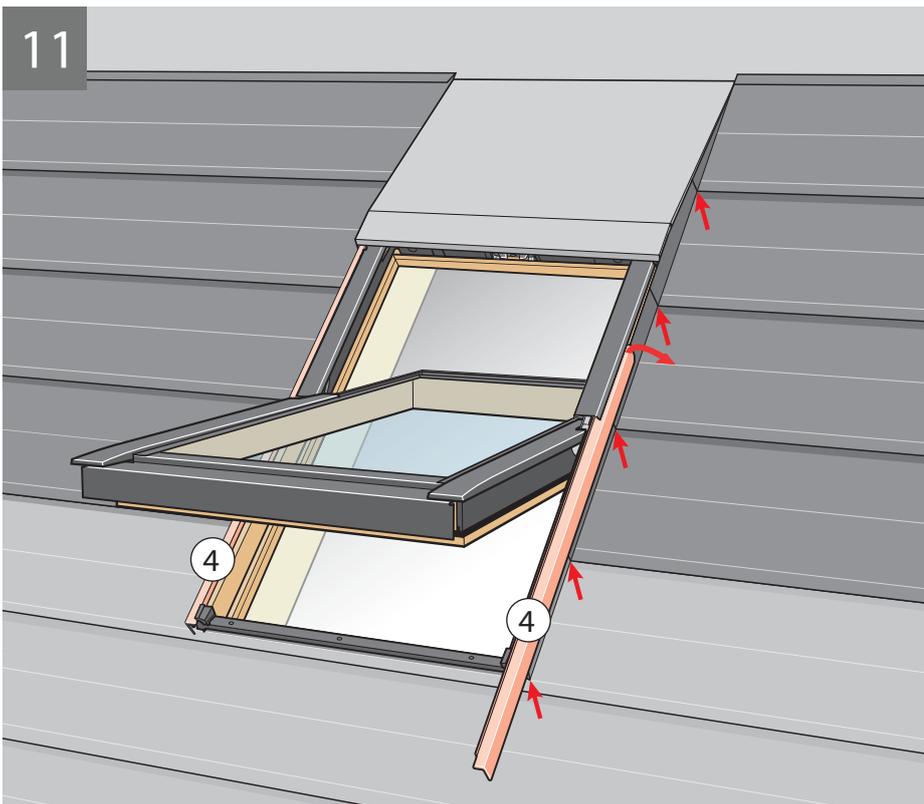


側面の屋根材は、窓枠に沿って立ち上げて本体に釘で固定して下さい。尚、図のように次に来る屋根材とのかみ合わせ部分には、あらかじめコーキングを打ち、十分な防水をして下さい。

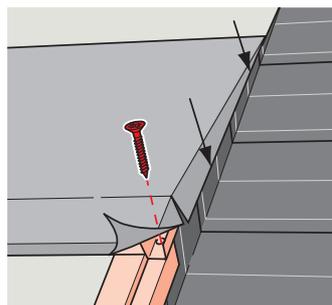
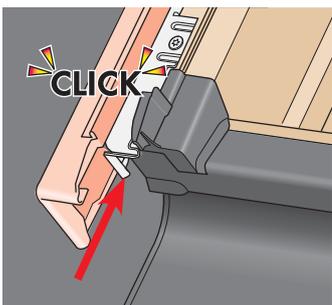
注意!

26mm 以上の釘を打たないで下さい。  
内枠まで貫通すると窓の開閉ができなくなります。

11



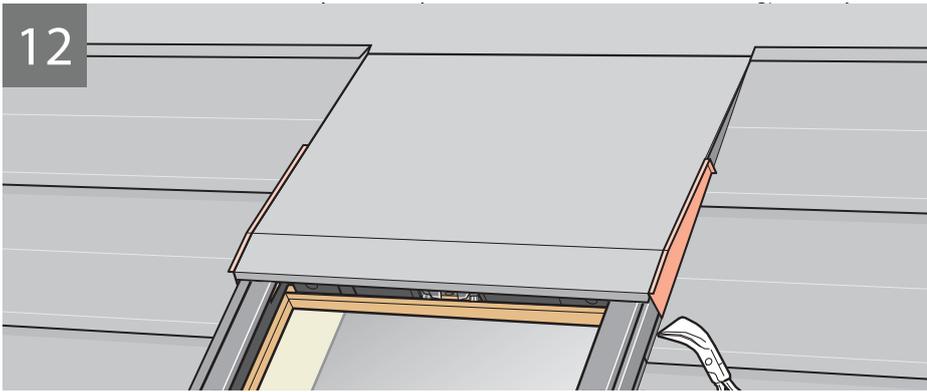
外装板を元の位置に取り付けます。  
次に、立ち上がりのかみ合わせ部分（矢印箇所）へ再度少量のコーキングを打って下さい。  
ジャンプ台横の下から1枚目のトタンは、窓枠の天端に合わせてカットします。  
2枚目以降はつかみしろを残しておいて下さい。



重要!

側部外装板④を取り付ける際、下部外装板の端部L型金属プレートにしっかり差し込んで下さい（左図）。  
また、上部で当たる場合、少し外側に開いて差し込んで下さい。

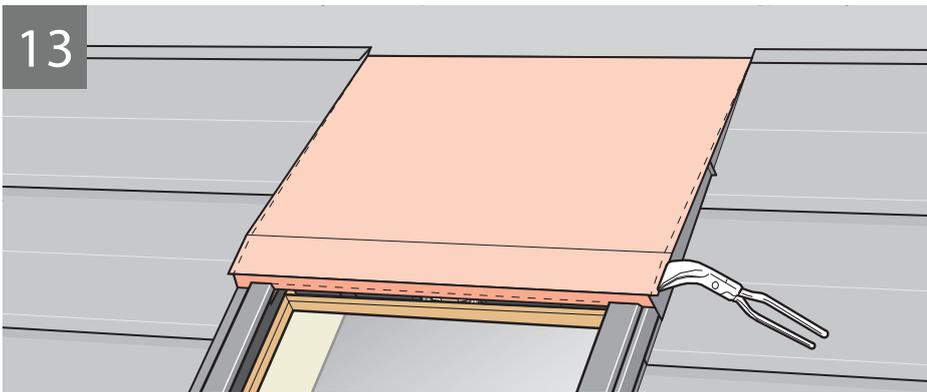
12



図のように3方向につかみしろを残し、カットした水切り板をジャンプ台側面に取り付け、⑪で取り付けられた側部外装板にはめ込んで周囲をしっかりと挟みつけ、完全に外枠外装板をカバーします。

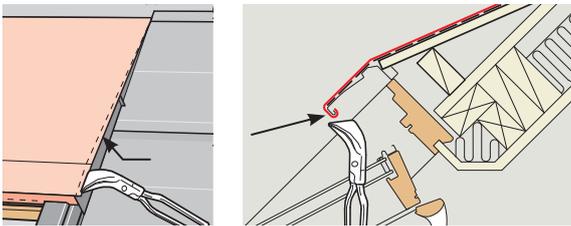
この水切り板を取り付けることにより外枠外装板とトタンの立ち上げ部分にコーキングすることなくスッキリと納めることができます。

13

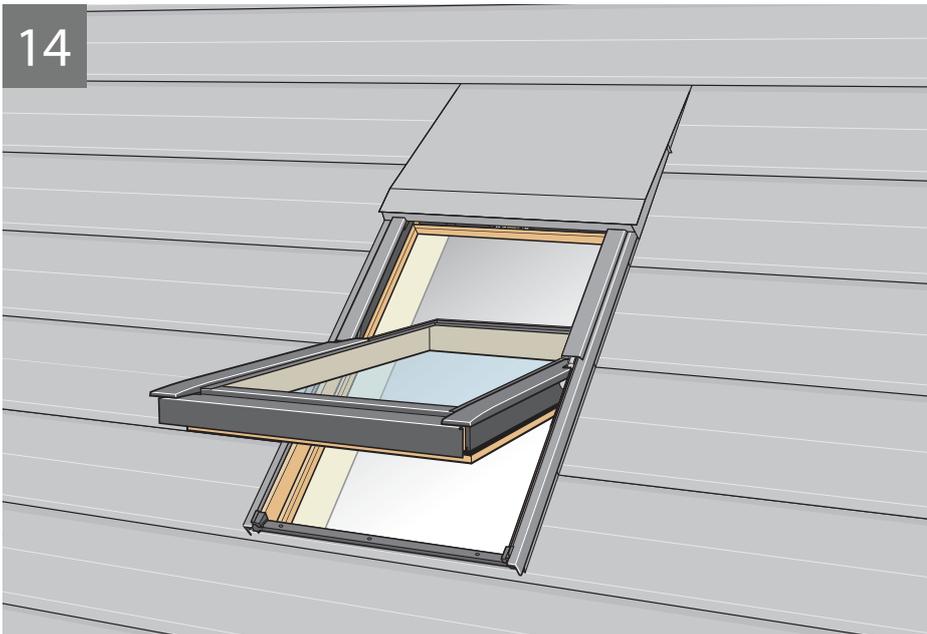


⑫で残したつかみしろ上部に天板の仮留めのために両面テープを貼ります。次にジャンプ台の形状に合わせて加工した上部天板をかぶせます。

天板と側面は、⑫で残したつかみしろと一緒につかんで折り曲げます。室内側も下右図のように上部外装板に沿ってしっかりとつかんで下さい。この時、折り曲げ部分がフィルター部に当たらないように注意して下さい。

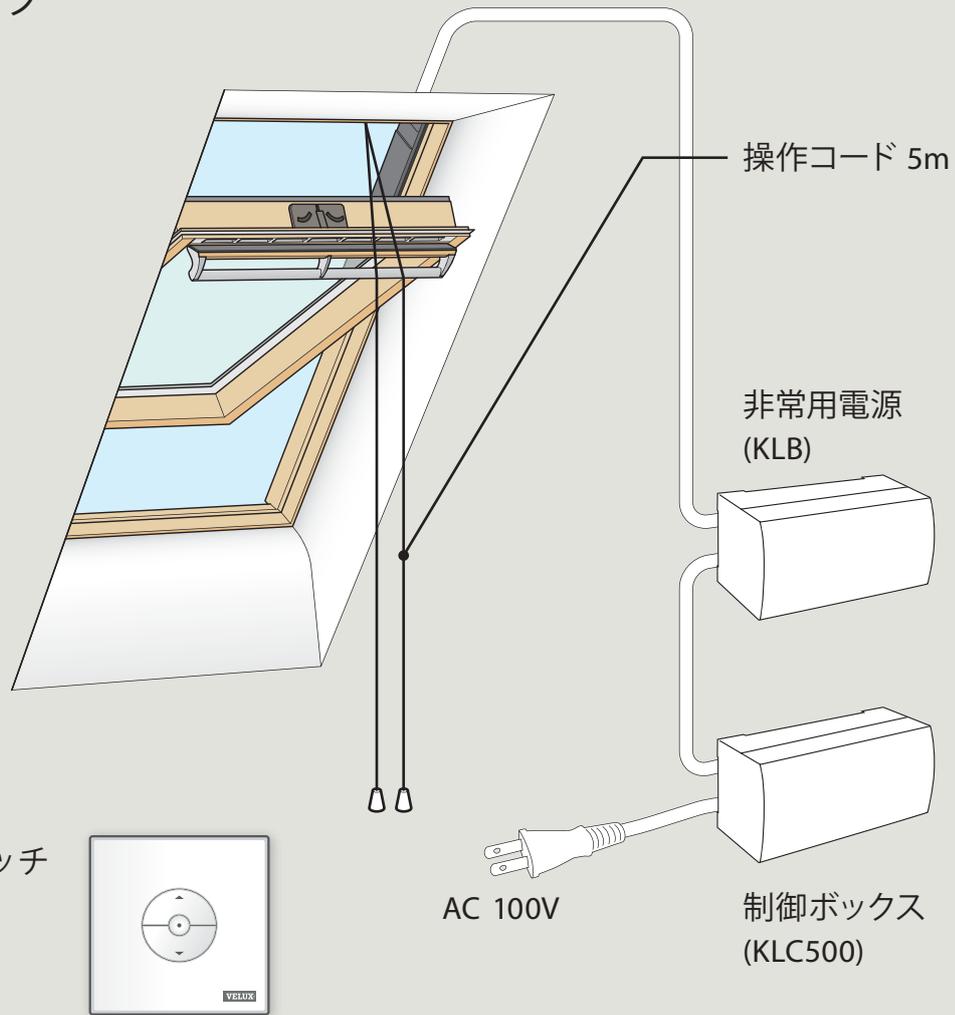


14

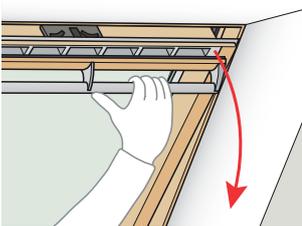


最後にねじの締め付けをご確認下さい。

## GGH電動タイプ



### GGH電動タイプ



GGH電動タイプの窓でも開閉レバーを引き下げて、手動で窓を開けることができます

GGH電動タイプの場合は、窓本体にモーター等が内蔵されています。また、配線ケーブルが出ていますので、野地板のすき間から室内側に入れて下さい。白の2芯ケーブルは非常用電源に接続して下さい。非常用電源と制御ボックスは2芯ケーブルで接続して下さい。

リモコンスイッチが入っていますので、制御ボックスを100Vのコンセントに差し込み、試運転を行って下さい。また、操作コードを説明書に従って取り付けして下さい。



お問い合わせ先：日本ベルックス株



**TEL:0570-00-8141**  
**FAX:0570-00-8146**

※市内通話料金でご利用頂けます。

◆ナビダイヤルに接続できない場合は  
TEL：03-3478-8141 FAX：03-3478-6879  
[www.velux.co.jp](http://www.velux.co.jp)